

JICA 関係者限定資料

マレーシア

任国情報

1998年

JICA LIBRARY



1146910[3]

国際協力事業団

国際協力総合研修所

国際協力事業団

△

JICA

CI13

20

110

LIBRARY

はしがき

この任国情報は国際協力のために赴任される専門家などの J I C A 関係者に、赴任国での生活上必要な情報を提供するものです。

本書の刊行にあたっては当該国に派遣中の専門家など J I C A 関係者の皆様から多大な御協力を得ました。また、外務省、在外公館、その他関係機関の御好意により、貴重な資料の一部を利用させていただきました。

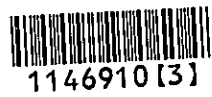
今後も本書の内容を一層充実させ、常に新しい情報の提供に努めたいと考えております。

本書が国際協力の分野で活躍される方々の参考となれば幸いです。

なお、本書に記載された内容は、当該国に派遣中の専門家など J I C A 関係者の皆様の執筆を中心にまとめたものであり、国際協力事業団の公式見解ではないことを付記いたします。

平成 10 年 12 月

国際協力事業団
国際協力総合研修所長



1146910【3】

目次

I	概況	i
II	生活事情	1
1.	食生活	1
2.	衣料	5
3.	住宅	6
4.	医療	9
5.	教育	13
6.	家庭の使用人	16
7.	交通事情	17
8.	通信	21
9.	マスコミ	24
10.	教養、娯楽、趣味、スポーツ	26
11.	その他のサービス	31
12.	観光	32
13.	治安、緊急時の心得	35
14.	出入国手続および帰国手続	37
15.	私財の輸送、引き取り、購入	40
16.	社交	43
17.	任国官公庁	45
18.	在外日本関係機関など	46
19.	地方都市	46

I 概況

表-1：マレーシア概況

正式国名	(和文) マレーシア (英文) Malaysia
独立年月日 旧宗主国	1957年8月31日 マラヤ連邦として独立 英国
政 体	立憲君主制
元首の名称	国王サルタン・ジャファール・アブドル・ラーマン (JA'AFAR Abdul Rahman) (1994年4月就任、任期5年)
位置・面積	北緯0度45分～7度28分 東経99度44分～119度30分 330 千平方キロメートル (注1)
首 都	クアラルンプール (Kuala Lumpur)
総人口	21.2百万人 (1996年)
民族	マレイ系、中国系、インド系、その他
公用語	マレイ語
宗 教	イスラム教、仏教、ヒンドゥー教、キリスト教、アニミズム
暦	<p>〈日本との時差〉 - 1時間</p> <p>〈祝祭日〉 (1997年) (注2)</p> <p>* 2月7～8日 中国正月</p> <p>+ 2月9日 断食明け大祭</p> <p>4月18日 犠牲祭</p> <p>5月1日 メーデー</p> <p>+ 5月13日 Vesak Day</p> <p>6月3日 国王誕生日</p> <p>+ 7月18日 マホメット誕生日</p> <p>8月31日 独立記念日</p> <p>† 10月30日 Deepavali</p> <p>12月25日 クリスマス</p> <p>*：陰暦で初めの月の最初の2日</p> <p>+：イスラム陰暦に基づき、1～2日の幅で変更の可能性あり</p> <p>†：サバとサラワクを除く</p>

出所 (注1) World Development Report 1996 The World Bank

(注2) The Europa World Yearbook 1996 Europa Publications

1. 国土の概要

国土は北緯0度45分～7度28分、東経99度44分～119度30分に位置し、総面積は330千平方キロメートルである。領域は南シナ海を隔てて二つに分かれ、その間の距離は約640キロメートルに達する。一つはマレー半島の西マレーシアで、1957年から63年まではジョホール、ネグリ・スンビラン、ケランタン、ケダ、トレンガヌ、セランゴール、ペルリス、パハンおよびペラの9つのマレー諸州と旧英国海峡植民地のペナン、マラッカの2州で構成されたマラヤ連邦であった。もう一つはボルネオ島北西部の旧英国直轄植民地、サラワクとサバ（かつての北ボルネオ）からなる東マレーシアである。西マレーシアは北方でタイ、南方でジョホール水道を隔ててシンガポール、南西方でマラッカ海峡を隔ててインドネシアと境している。東マレーシアはインドネシアと接するほか、サバの北東方でスルー海を隔ててフィリピンのパラワン、ミンダナオの両島と接し、さらにサラワクの北東隅にブルネイがある。

西マレーシアは、森林に覆われた山岳地域と、それを取り囲む広大で低湿な平野からなる。マレー半島は幅が狭く、中央部の南北方向に連なる山脈のため、河川は一般に短い。山脈では急流であるが平野に出ると流れは穏やかとなって蛇行し、熱帯植物が岸辺にまで繁茂している。また、断層崖に沿って格子状河系となっているのが普通である。

パハン川は東海岸に注ぐ川の中では一番長く、その流域は未開発のまま残された沼沢地帯となっている。西海岸に注ぐペラ川の支流、キンタ川流域は国内最大の錫産地となっている。

東マレーシアのボルネオ島の最北部であるサバ州の海岸は、屈曲の変化に富み、1,450キロメートルの長さを有し、珊瑚礁からなっている。

東南アジア最大の山であるキナバル山（4,101メートル）はサバを象徴する紋章が描かれており、先住民に神聖視されている。また、サバはボルネオの他の地方とは異なり、奥地まで航行できる大きな川はキナバタンガン川のみである（数値は弘文社資料、1991）。

(参考文献)

『もっと知りたいマレーシア』 1991 弘文社

2. 気候

気候はアジア季節風の影響を受け、一年を通じて高温多湿であるが、降雨量の多い北東モンスーン期と比較的少ない南西モンスーン期があり、ところによっては短い乾期がある。

年間の平均気温は26度前後である。蒸発量が多いため日中は雲が発生しやすく、これが気温の上昇を妨げるので、一日の最高温度が35度に達する地域はまれである。また、降水量が減少するとたちまち旱魃を招くおそれがある。

(参考文献)

『世界各国要覧 7訂版』 1993 東京書籍

3. 人口

1996年の人口は1,970万人である（数値は外務省資料、1997）。主要都市では、首都クアラルンプール約200万人、イポー約40万人、ジョホールバル約33万人、マラッカ約30万人、ペタリンジャヤが約26万人である（数値はEuropa Publications資料、外務省資料）。

（参考文献）

The Europa World Yearbook 1995 Europa Publications
World Development Report 1996 The World Bank

4. 略史

表-2：マレーシア略年表

年	出来事
1600年	マラヤ王国成立
1867年	英国がシンガポール、マラッカ、ペナンで英植民地を構成
1946年	英国が連邦4州、非連邦5州、マラッカなどの植民地でマラヤ連合を構成
1948年	マラヤ連合が英国との協定によりマラヤ連邦となる
1955年	総選挙によりラーマンを首相とする内閣が発足
1957年	独立（マラヤ連邦：英連邦加盟の独立国）
1961年	マレーシア連邦構想発表
1963年	マレーシア連邦発足
1965年	シンガポール、マレーシア連邦から脱退、分離独立
1969年	総選挙で与党連合が大幅後退し、民族抗争激化、非常事態宣言（69年5月13日事件）
1970年	暴動に対処するため、国家運営評議会設立、副首相アブドゥル・ラザクが議長に就任、ラーマン初代首相引退、ラザクが二代目首相の地位についた
1971年	憲法改正により、マレイ人優先主義が打ち出される 5カ国防衛協定が発足
1976年	フセイン首相就任
1981年	マハティール首相就任
1983年	政府の国王の権限縮小を述べた憲法改正法案提出のため、政府とサルタン対立
1987年	10月、国内治安法令発動。報道・集会・デモに対する規制の強化
1990年	10月、総選挙実施
1993年	11月、マハティール首相が総裁に再選
1995年	4月、総選挙実施

- 出所 【アジア動向年報】 1986, 1987 アジア経済研究所
 【東南アジア要覧】 1992 東南アジア調査会
 【最新世界現勢】 1993 平凡社
 【国別援助研究会報告書】 1993 国際協力事業団
 【世界年鑑】 1993, 1994 共同通信社
 「産経新聞」 4月25日 1995 産経新聞社

5. 民族

総人口の5分の4が半島部に居住し、その半数強がマレイ人である。しかし島しょ部ではダヤクと総称される民族（カダザン、ムルット、バジャウ、イバン、陸ダヤクなど）が5分の3を占め、マレイ人は華人（中国人）の4分の1よりも低い8分の1強の少数に過ぎない。全国人口の3分の1に達する華人は半島部西岸に集中するほか、都市の主要住民となっている。また、インド・パキスタン系も半島部に多い（数値は弘文社資料、1991）。

（参考文献）

【もっと知りたいマレーシア】 1991 弘文社

6. 言語

主たる言語は、マレイ語、英語、中国語、タミール語であるが、国語は、憲法第152条によってマレイ語と定められている。独立後10年を経過した1967年、政府は、国語法を制定し、マレイ語の具体的使用法を規定したが、その後憲法および国語法が十分に実施されていないとして、71年、憲法を一部改正し、国語であるマレイ語をすべての公用目的に際して必ず使用しなければならない、と明記した。

なお、サバおよびサラワクについては、マレーシア成立後10年間、英語が公用語となっていたが、1973年3月よりサラワク州でもマレイ語を公用語とすることとなった（英語を併用）。その後85年6月からマレイ語に一本化された。

（参考文献）

【アジア動向年報】 1986 アジア経済研究所

7. 宗教

政治的な理由から政府はイスラム教の強化に力を入れており、実質上はイスラム教が国教であるが、信仰の自由は認められている。一般に、マレイ人はイスラム教徒、華人は仏教徒（一部キリスト教徒）、インド人はヒンドゥー教徒、ユーラシアンはキリスト教徒である。マレイ人はハリ・ラヤを祝って1ヶ月の断食を行い、華人は旧正月を、インド人はディパバリを、クリスチャンはクリスマスを祝うため、宗教の祝日は多彩である。また、多くのモスクと共に、寺院や教会が全国に混在している。各民族は宗教が自分たちのアイデンティティを守るものとの考え、自分たちの宗教に固執する傾向が強い。

8. 文化

複合民族社会のため、文化・芸術はひとつに統合あるいは融和されたということはない。

文学においては19世紀を境に、古典と近代文学に分けることができる。特に1950年代以降のマレイ文学は、高い文学的水準を保ち、国際的評価も得るに至っている。また、71年に出版されたアブドゥッラー・フセインの『連帯』は人種問題を正面から取り上げた作

品として非常に注目された。

音楽や工芸については民衆レベルで発展してきたものであるが、サルタンの王室、宮殿に庇護を受けてきたため、伝統的な舞踊が現在も盛んであり、銀細工、真鍮細工も現代に受け継がれている。

(参考文献)

『もっと知りたいマレーシア』 1991 弘文社

9. マス・メディア

(1) 新聞

主要日刊紙には、『New Straits Times (英字紙、約16万8千部)』、『Nanyang SiangPau (華字紙、14万5千部)』、『Sin Chew Jit Poh (華字紙、21万部)』、『BeritaHarian (マレイ語、25万部)』、『Utusan Malaysia (マレイ語、24万部)』、『TamilNesan (タミール語、3万部)』などがある(以上数値はEuropa Publications 資料、1995)。

(参考文献)

The Europa World Yearbook 1995 Europa Publications

(2) 放送

1992年現在、国内で推定808万人のラジオ受信者、282万人のテレビ受信者がいる。1987年12月に制定された放送法の下で、情報相はすべてのラジオおよびテレビ放送を統制している。国営マレーシア放送(ラジオ、テレビ)はマレイ、英、中国、タミール各語で放送している(数値はEuropa Publications 資料、1995)。

(参考文献)

The Europa World Yearbook 1995 Europa Publications

『世界年鑑』 1995 共同通信社

表-3：経済指標 [マレーシア]

主要経済指標の 推移		(1994)	(1995)	(1996)
	GDP (ドル) (注1)		743	831
一人当たりGNP (ドル) (注1)		3,480	4,016	4,465
実質GDP成長率 (%) (注1)		8.7	9.5	8.6
消費者物価上昇率 (%) (注1)		3.7	3.4	3.5
失業率 (%) (注2)		2.9	2.8	2.5
貿易収支 (百万ドル)		-762	-3,737	-101
輸出額(fob)		58,652	73,864	78,315
輸入額(fob) (注1)		59,414	77,601	78,416
主要輸出入相手国 (注1)		輸出 (1996年) シンガポール (20.7%) 輸入 (1996年) 日本 (24.3%)		
経常収支 (百万リングット) (注3)		-14,770	-21,825	-12,252
対外債務残高 (億ドル) (注1)		N.A.	307	398
債務返済比率 (%) (注5)		6.6	7.8	7.7
外貨準備高 (百万ドル) (注4)		25,544	23,898	N.A.
通貨 (1999年10月8日)	通貨単位：リングット (RM) 1ドル=3.8004 Malaysian Ringgit			
会計年度	1月1日～12月31日			

出所

- (注1) THE WORLD 世界各国経済情報ファイル 1996,1997 世界経済情報サービス
(注2) 各国・地域事情と日本との関係 1997 外務省
(注3) Bank Negara Malaysia, Quarterly Bulletin, 2nd Quarter 1997, pp.118-119;
(注4) 四国地域国際化情報提供システム カントリーペーパー
(注5) World Debt Tables 1996 1996 The World Bank

II 生活事情

1. 食生活

1-1 食料

(1) 一般事情

クアラルンプール周辺では日系の伊勢丹、ヤオハン、そごう、ジャスコなどが進出しており、日本で出回っている食料品のほとんどが入手できる。ただし、値段は日本国内の1.5倍以上になる。ローカルのマーケットには安価で新鮮なものもあるが、衛生状態は必ずしもよくない。輸入食料品を扱うデパートやスーパーマーケットの衛生状態は日本とほぼ同様である。

(2) 主な食料の出回り状況

<米>

国産米は安い長粒米である。日本国産米はないが、日本米に近いオーストラリア米、カリフォルニア米がある。

<パン>

食パン（白、玄米）はどこでも入手できる。

<肉>

牛肉（特にオーストラリア、ニュー・ジーランド産）が安くて味がよい。鳥肉、豚肉、マトンも安い。

<野菜・果物>

主にキャメロン・ハイランドで生産しており、シンガポール向けに供給している。種類は少ないが日本の野菜に似たものも手に入る。スイカ、バナナ、パパイヤなどは常時あり、とても安い。シーズンのある果物では、果物の王様ドリアンやマンゴー、マンゴスチン、ランブータンが楽しめる。梨、ぶどう、リンゴ、みかんは輸入されている。

<魚類>

近海産のエビ、サワラ、アジ、イカや淡水産のコイ、エビ、ナマズがある。鮮度は必ずしもよくない。

<調味料・油>

味噌、食用油、コーン油など日本で使っているものはほぼ揃っている。また、香辛料が豊富にある。

<酒>

洋酒、ワインのほか日本酒、焼酎も買える。ただし、値段は高い。

<水>

クアラルンプールの水道水は直接飲用できる。ただし、水道管の老朽化による水質の劣化があるため、浄水器を使用している人が多い。ミネラルウォーターはスーパーで購入できる。

<その他>

納豆、絹ごし豆腐、梅干し、こんにゃく、漬物などが日系スーパーから入手できる。

(3) 食料の入手

味噌、しょうゆ、そうめん、納豆など、一般的な日本食品は次の店で入手できる。なお、K.L.はクアラルンプール、P.J.はペタリンジャヤでクアラルンプールに隣接している都市である。

取扱店	所在地	電話	営業時間
Sogo Pernas (そごう)	Jln. Tuanku Abdul Rahman K.L.	2982111	朝 11 時～夜 8 時
The Mall (ヤオハン)	The Mall Lot 38, Section 51, Jln. Tun Ismail 50480 K.L.	2937255	朝 10 時～夜 10 時
Jaya Jusco Utama 1 (ジャスコ)	Bandar Utama Damansara, 47800 Petaling Jaya, Selangor.	7166266	朝 10 時～夜 10 時
Lot 10 (伊勢丹)	Lot 10, No.50, Jln. Sultan Ismail, 50250 K.L.	2417777	朝 10 時～夜 9 時半

その他の入手先として、スングアイワン、アンパンパーク、ヤオチュアン、ジャヤスーパーなどのデパートやスーパーマーケットがある。また、クアラルンプール郵便局とダヤブミのそばにあるセントラルマーケットやローカルマーケット (P.J.の Sea Park, New Town, Old Town) もある。住宅地で週 1 回開かれる夜市場 (パサーマラム) では果物や野菜が安い。邦人が多いコンドミニウムには大抵小さな売店がある。また、ショッピングカー (移動売店) で日本食品が入手できる地域もある。

1-2 食器、調理器具など

(1) 食器、調理器具などの入手

生活に必要なものはひとつとおり入手できる。電化製品は冷蔵庫、洗濯機、炊飯器、電子レンジ、トースター、ジューサーミキサーなど、日系企業が当地仕様品を作っており、場合によっては日本より安価で入手可能である。ただし、冷蔵庫、洗濯機、乾燥機などは賃貸住宅に備えてある場合が多い。

食器類は日本製品、中国製品、欧米製品も入手できる。ただし、日本製品は選択の幅が狭い。また、密封容器もあるが日本製品は高い。

(2) 日本から持参した方がよい食器、調理器具など

日本で使い慣れたものがあれば前もって発送するとよい。ただし、電化製品については、電圧が 240 ボルトであるため当地での購入を勧める。

1-3 外食

(1) 飲食店

クアラルンプールには数多くの日本食レストランがあり、ランチタイムには夕食時よりも安い料金でサービスをしている。ただし、当地の日本食は他国の料理と比較して「高級料理」に位置づけられているため、日本と同様の価格である。

マレイ料理店は数多くあり、手軽な値段で満足できる。中華料理店も市内に多数ある。ホテル内にもよいレストランはあるが、価格はローカル店の 2～3 倍である。安くても美味しいローカル店を探すのが楽しみのひとつでもあり、お勧めである。

西洋料理店はホテルを中心に数多くあるが高価である。インド料理は香辛料のたっぷり入った南インド料理と、それほど辛くない北インド料理が楽しめる。また、隣国

タイの料理店が何軒かある。

人数が多い時は予約をした方がよい。税サービス料として 15%加算されるのでチップは必要ない。

<日本料理>

レストラン	所在地	電話
大公稲ぎく	Menara Keck Seng, 2nd Floor, Jln. Bukit Bintang, K.L.	248-2133
鴨川	Ming Court Hotel, K.L.	261-8888
樺 (けやき)	Pan Pacific K.L. Hotel, K.L.	442-5555
勘八	Hotel Equatorial, K.L.	261-7777
竹葉亭	See Hoy Chan Plaza, Jln. Raja Chulan, K.L.	230-0729
灘万 (なだまん)	Shangri-La Hotel, K.L.	232-2388
源氏	P.J. Hilton Hotel, P.J.	755-9122
宗像 (むなかた)	Menara Promet Bldg., K.L.	241-7441
弁慶 (べんけい)	Nikko Hotel, K.L.	261-1111
江戸キリン	Regent Hotel, K.L.	241-8000
京花 (きょうか)	Istana Hotel, K.L.	241-9988
嵯峨野 (さかの)	Renaissance Hotel, K.L.	262-2233

<マレイ料理>

Restoran Nelayan

住所：Taman Tasik Titiwangsa, Jln. Temerloh, K.L.

電話：422-8400

Seri Melayu

住所：Jln. Conlay, K.L.

電話：245-1833

<中華料理>

レストラン	所在地	電話
Toh Lee	Nikko Hotel, K.L.	261-1111
Zin Cuisine	Concorde Hotel, K.L.	244-2200
Museum	Legend Hotel, K.L.	442-9888
Hakka	Jln. Kia Ping, K.L.	243-1908
Lee Ho Fook Steamboat	Jln. Sultan Ismail, K.L.	201-8193
Esquire Kitchen	Jln. Bukit Bintang, K.L.	248-5006
Lai Ching Yuen	Regent Hotel, K.L.	241-8000
Hai Tien Lo	Pan Pacific K.L. Hotel, K.L.	442-5555
Shang Palace	Shangri-La Hotel, K.L.	232-2388

<その他の外国料理>

～料理	レストラン	所在地	電話
インド	Shiraz	Jln. Medan Tuanku Abdul Rahman	292-0159
	Taj 1	Crown Princess Hotel	262-5522
	Taj 2	Federal Hotel	248-9166
タイ	Cili Padi	The Mall (Yaohan KL)	442-4120
	Coca	KL Plaza	245-9600
	Ban Thai	Vistana Hotel	442-8000
韓国	Koryo-won	Kompleks Antarabangsa, K.L.	242-7655
	Han Kook Kwan	M.N.I. Twins, K.L.	264-7055
	Nol Boo	Jln. Sultan Ismail	263-3466
シーフード	Eden	Jln. Raja Chulan, K.L.	241-1093
イタリア	Bologna	Istana Hotel, K.L.	241-9988
	Lamico Ristorante Italiano	Shazan Prudential Tower, K.L.	244-4122
フランス	La Lafite	Shangri-La Hotel K.L.	232-2388

(2) その他の飲食店

パブは主要なホテル内にあり、食事や酒とともに、ショーやダンスを楽しむことができる。ホテル内のパブでは1杯が10～20リンギット程度である。ローカルのパブに出かける際は、当地の事情に詳しい人と同行することを勧める。

ホームパーティーなどの際、食器などを含めて料理を持参したり、その場で作ってくれるケータリングサービスがある。

2. 衣料

2-1 衣料

(1) 一般事情

ちょうど日本の夏にあたる暑い気候である。日中の気温は 35℃近くまで上がり、湿度も高い。年間の気温の変化は少ないものの日較差は大きく、朝晩は涼しい。特に夜間の外出には冷えないよう注意すること。また、建物内の冷房がかなりきついため、外出時は常に長袖を携帯することを勧める。

価格にこだわらなければ素材、デザイン、色、柄など自分の好みにあった衣類のほとんどが入手できる。一般的に衣料品の質はよく、高値ではあるが日本製品も出回っている。ただし、麻製品はあまり見かけない。サマーウール 100%のスーツなどは限られた店でしか扱っていない。また、コットン 100%の製品は高値である。

(2) 日本から持参した方がよい衣料

春夏用のカーディガンなど、麻製品、綿製品（タオル、シーツ類を含む）は持参した方がよい。

男性は背広（当地でも作れる）、長袖のワイシャツ、ネクタイ、女性は綿のブラウス、麻のスーツ、ストッキング、子供には靴、外出着を持参するとよい。

(3) 任国で調達した方がよい衣料

バティックなど。

(4) その他の留意点

特に綿製品は高く、それほど質がよくない場合がある。

女性は宗教上の問題から、袖なし、タンクトップなどは着用しない方がよい。

2-2 礼装

(1) パーティー

男性は民族衣装のバティック、女性はロングドレス、ワンピースなどである。イスラム教国であるため、略式の場合でも長袖を着用する。

(2) 式典

仕事の関係で種々の式典に招かれることがあるが、通常、男性は背広もしくはバティック、女性はワンピース、スーツなど（長袖）でよい。

(3) その他の冠婚葬祭

冠婚葬祭に必要と思われる基本的な衣料が必要である。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

クリーニング店は多数ある。特にホテル内の店では盗難の恐れもなく、安心できる。ドライクリーニングも可能で、特殊なもの（着物など）を除けば技術的に問題はない。ただし、事故の時の補償に関しては、稀にトラブルの例がある。

アイロン、電気洗濯機などは当地で妥当な価格で購入できる。

(2) 仕立て、修繕

男性用のスーツ、ワイシャツ、サファリスーツ、バティックを安価に仕立てることができる。婦人服も好みのデザインで注文できる。

(3) 保管

湿気が多いため、特に皮製品にはかびが生えやすい。こまめに風を通す必要がある。

3. 住宅

3-1 住宅事情

(1) 一般事情

マレーシア観光年であった1990年を境に家賃は上昇している。外国人が入居する住宅の家賃は、家族向きの2LDK~3LDKで月額およそ3,000~5,000リンギットである。

防犯設備と娯楽設備（プール、テニスコートなど）の整っているコンドミニウムに人気が集積しており、庭付き一戸建ては防犯や管理の面倒から入居者は少ない。特別な事情がない限り、コンドミニウムの入居を勧める。

宗教上の理由からマレイ人は犬を嫌うので、犬を連れてきて一緒に暮らすことは勧められない。

3-2 ホテル事情

邦人がよく利用するクアラルンプールの主なホテルは次のとおりである。料金は全てJICA料金で、税金・サービス料込みである（RM=リンギット）。

ホテル	所在地	電話	料金（一泊）
	設備		
Equatorial	Jln. Sultan Ismail, K.L.	261-7777	RM 196
	客室 300、バー、中華・日本料理レストラン、プール、ショッピングアーケード、コーヒーハウス、遊技室、会議室		
Federal	35 Jln. Bukit Bintang, K.L.	248-9166	RM 187
	客室 450、レストラン、回転ラウンジ、コーヒーハウス、ボウリング場、プール、ショッピングアーケード		
Holiday Inn City Center	Jln. Raja Laut, K.L.	293-9233	RM 195
	客室 200、バー、アジア・西洋料理レストラン、コーヒーハウス、プール、ショッピングアーケード、会議室		
P.J. Hilton	Jln. Barat, P.J.	755-9122	RM 276
	客室 398、マレイ・中華・日本料理レストラン、ディスコ、バー、コーヒーハウス、ボールルーム、会議室		
Ming Court	Jln. Ampang 50450 K.L.	261-8888	RM 196
	客室 447、コーヒーハウス、仏・中華・日本料理レストラン、スカッシュ・テニスコート、宴会場、会議室		
Renaissance	Corner of Jln. Sultan Ismail & Jln. Ampang, K.L.	262-2233	RM 235
	客室 399、コーヒーショップ、日本・中華料理レストラン、グリル、バー、ナイトクラブ、プール、ディスコ、ショッピングアーケード、テニスコート、スカッシュコート、会議室		
Nikko	165, Jln. Ampang, K.L.	261-1111	RM 201
	客室 470、パブ、コーヒーハウス、グリル、日本・中華料理レストラン、宴会場、会議室、ショッピングアーケード、ジム		

次ページへ続く

ホテル	所在地	電話	料金 (一泊)
	設備		
Parkroyal	Jln. Sultan Ismail, K.L.	242-5588	RM 242
	客室 400、レストラン、コーヒーハウス、サウナ、プール、ディスコ、ショッピングアーケード		
Shangri-La	11 Jln. Sultan Ismail 50250 K.L.	232-2388	RM 290
	客室 722、中華・仏・日本料理レストラン、コーヒーハウス、バー、会議室、ヘルスセンター		
Pan Pacific K.L.	Jln. Putra Baru	442-5555	RM 207
	客室 571、コーヒーハウス、仏・日本・中華料理レストラン、バー、プール、テニス・スカッシュコート、ジム、サウナ、マッサージ、宴会場、会議室		
Regent	Jln. Bukit Bintang, K.L.	241-8000	RM 290
	客室 469、コーヒーハウス、仏・日本・中華料理レストラン、バー、プール、テニス・スカッシュコート、ジム、サウナ、ヘルスセンター、会議室		
Grand Continental K.L.	Jln. Belia/Jln. Raja Laut, K.L.	293-9333	RM 140
	客室 469、コーヒーハウス、仏・日本・中華料理レストラン、バー、プール、テニス・スカッシュコート、ジム、サウナ、ヘルスセンター、会議室		

3-3 住宅の探し方

前任者の住宅をそのまま引き継ぐケース（いわゆる居抜き）が多々みられる。

その他、新聞広告や知人の紹介などによる方法もあるが、地理的に不案内な状態ではむずかしい。

主な住宅斡旋業者は次のとおりである。

斡旋業者	所在地	電話	担当者
Dave Enterprise	9A Jln. Union 3, Jln. Sentul, 51100 K.L.	442-5153	Mr. Simseer Singh
Hounichi Property Services	No. 69-2, 2nd Floor, Jln. Kg. Pandan 55100 K.L.	983-7011 F: 984-3220	Mr. C. C. Yong
Catherine Agency	No. 7-1, Jln. 1/76, Desa Pandan 55100 K.L.	987-2133 F: 987-5133	Mr. Ota, Mr. Aoki
Property Link	No. 41-2, Jln. Mega Mendung, Bandar Park, 5th Mile, Jln. Klang Lama, 58200 K.L.	780-2399 F: 78-10456	Ms. Shirley Liew
Hosanna Properties	No. 129-A, Jln. SS 2/24, 47300 Petaling Jaya, Selangor.	777-9333 F: 777-9933	Mr. Philip Tan

3-4 住宅の選定上の留意点

地域の選定にあたっては、通勤・通学の便、その他の外出時（買い物など）の便を考慮する。特に日本人学校に通学する児童がいる場合は、スクールバスの路線（かなり限定される）・空席状態も考慮する必要がある。

コンドミニアムでも、防犯体制は整っているか、設備は十分なものがあるかを確認すること。また、家具の有無やその質についても確認し、契約前に業者を通して家主と協議するのが望ましい。契約後の交渉はトラブルの原因になりやすい。

稀に、電気製品などを新規に付けてもらったり、または必要のない備品を引き取ってもらい家賃を勉強してもらうことも可能である。

電話（国際ダイヤル）や駐車場の有無、シャワー、水道の水圧、湯量、トイレなどもチェックが必要である。何事も契約前に行うことが肝要である。

庭付き一戸建ての場合は、警備員、鉄格子など防犯設備の有無を特に念入りに調べること。

3-5 住宅の契約

通常、契約期間は2年である。契約は一定の書式にしたがい、業者の立ち会いのもとで貸し主と借り手双方の合意の上でなされる。礼金などはなく、敷金にあたるデポジット（通常は家賃2ヶ月とユーティリティ代1,000リングット程度）を前払いする。これは契約期間終了後、借り手が住居に損害を与えていなければ戻ってくる。契約書には、契約の継続あるいは途中解約の条項を明記すること。

3-6 電気、ガス、水道などの手続と管理

電話代は、家主宛で毎月請求書が送られてくる。小切手または現金で直接テレコムに支払うか、郵便局などの金融機関を通して払い込む。電話が故障した場合は、管理人または家主に頼むか、直接テレコム（100）に連絡する。その他の公共料金の支払い方法は事前に家主に問い合わせるとよい。

3-7 その他

邦人をターゲットにした空き巣や強盗事件が増加しているため、何をおいても防犯対策を重要視すること。JICA 事務所としてはコンドミニアムを勧めているが、事情により止むを得ず一戸建てに住む場合は、防犯灯をつける、玄関扉には二重錠やのぞき窓をつける、窓には鉄格子をつけるなど、犯罪者をよせつけないような隙のない防犯設備が必要である。

コンドミニアムではペットを飼うことが禁止されている場合があるので、事前に確認しておくことよい。通常、宗教上の理由から犬は禁止されている。

4. 医療

以下の記述は、執筆者が現地滞在経験に基づきまとめた一般参考情報で、必ずしも医療専門家の校閲を受けたものではありません。したがって、詳細（特に緊急時の対応や予防薬の服用方法など）については、事前に医療関係者から専門的アドバイスを受けるようにしてください。

4-1 赴任前の準備

(1) 予防接種

入国の際、特に義務づけられたものはないが、A型・B型肝炎、破傷風、狂犬病の予防接種は受けておくと安心である。また、乳幼児を含め日本で一般的に行われている予防接種は、赴任後、当地でも受けることができる。

土中に破傷風菌が存在するといわれており、特に児童は赴任前、もしくは赴任後すぐに予防接種を受けるのが望ましい。

新生児の場合は、生後間もなくポリオ生ワクチン、3種混合、BCG、B型肝炎ワクチンを短い期間内に接種するのが一般的である。赴任前に、かかりつけの医師に接種の時期を相談するとよい。

(2) その他の準備

クアラルンプール、ペナンなどの大都市へ赴任する場合は、医療事情は比較的よく、必ずしも赴任前に準備すべきものは特にない。一般的に、歯を含めた持病の治療、適正な眼鏡の準備などは赴任前に済ませておくことが望ましい。コンタクトレンズも広く使われているが、日本で用意することを勧める。

4-2 医療事情

(1) 医療機関

クアラルンプールなどの主要都市にはジェネラルホスピタルと呼ばれる国立総合病院があり、地方には、ディストリクトホスピタルと呼ばれる国立地区病院があるが、これらの医療レベルはあまり高くないため、私立病院の利用を勧める。

クアラルンプール周辺の邦人は私立総合病院のパンタイ病院、ジャパンメディカルセンターやスバンジャヤメディカルセンター、タワカル病院などを利用することが多い。以上の総合病院ではほぼ全ての分野の手術が可能である。特にパンタイ病院、ジャパンメディカルセンターには、日本で研修をした日本語が通じる医師がいるので安心である。また、スバンジャヤメディカルセンターには邦人看護婦が常勤している。

風邪などの軽い疾患の場合は個人開業医（クリニック）を利用することもできる。主要な私立病院は次のとおりである。

Pantai Medical Centre

所在地：No.8 Jln. Bukit Pantai 59100 K.L.

電話：285-2202

診療科目：総合、救急

費用：初診料 50～70 リンギット、入院費 50～350 リンギット

Japan Medicare Clinic

所在地：63 Jln. Bang Kung, Bangsar, 59100 K.L.

電話：254-5233

診療科目：総合

費用：初診料 35 リンギット～

備考：入院可（4床）

Subang Jaya Medical Centre

所在地：No.1 Jln. SS12/1A Subang Jaya 47500 P.J.

電話：734-1212

診療科目：総合、救急

費用：初診料 50～120 リンギット、入院費 75～250 リンギット

Ampang Puteri Specialist Hospital

所在地：No.1 Jln. Mamanda 9, 'Taman Dato' Ahmad Razali, 68000 Ampang,
Selangor.

電話：470-2500

診療科目：総合、救急

費用：初診料 50 リンギット～、入院費用 80～495 リンギット

Tawakal Hospital

所在地：202-A Jln. Pahang 53000 K.L.

電話：423-3699

診療科目：総合、救急

費用：初診料 50～75 リンギット、入院費 45～195 リンギット

Chinese Maternity Hospital

所在地：106 Jln. Pudu 55100 K.L.

電話：238-2055

診療科目：総合

費用：入院費 120～200 リンギット

(2) 緊急時の対応と措置

クアラルンプール周辺においては、緊急医療体制は比較的整備されている。

JICA 事務所では、病気、あるいは事故による怪我の場合は、病院で処置を受けるとともに、勤務時間中であれば JICA 事務所へ、勤務時間外であれば所長あるいは所員の自宅へ連絡するよう関係者に伝えている。重大な疾患あるいは事故であれば、さらに JICA 事務所から大使館へも連絡することになる。

なお、サバ、サラワク、ジョホール州での事故の場合は、日系病院のあるシンガポールに移送の方が時間的に早い。

救急車は電話（999 番）で呼ぶことができ、24 時間体制である。ただし、場所や時間帯によっては到着がかなり遅れることもあるので、動かせる状態であれば、自家用車などで病院へ直接移送した方が早い。パンタイ病院、スバンジャヤメディカルセンターなどが 24 時間体制の救急施設を持っている。

4-3 医薬品など

(1) 携行することが望ましい医薬品

家庭用常備薬、持病の薬、特に小児用解熱剤、胃腸薬、目薬（特に子供用）などは日本からある程度携行することを勧める。総合感冒薬、アレルギー性鼻炎薬、整腸剤、バツファリンは当地では購入できない。

(2) 任国で調達できる医薬品

主として欧米系のものが多いが、最近では日本製の医薬品も出回っている。

一般的に問題はないが、欧米系の医薬品は日本製医薬品に比べて処方が強いので注意すること。

日本の医薬品としてトクホン、サロンパス、正露丸、仁丹、リポビタン、ムヒ、コンタックなどが出回っている。また、日本人会売店でも若干の医薬品を購入することができる。

(3) 任国で調達できる衛生用品

包帯、ガーゼ、カットバンなどは揃っている。日本製の生理用品もあり問題はない。

(4) 医薬品を使用する場合の留意点

医薬品や化粧品は暑さで傷みやすいので、冷暗所へ保管すること。

当地は医薬分業制ではなく、クリニックや病院で必要な薬を出しており、そのためのアレルギー検査も行っている。

薬局で購入する際は、商品の回転のよいデパート内などで、名の通った医薬品を選ぶこと。また、必ず有効期間を確認してから購入すること。

4-4 妊娠、出産、育児

(1) 妊娠した場合の対応

多くの邦人が当地で出産しており、普通分娩の場合はまず問題はない。クアランプールでは設備の整っているパンタイ病院で出産をする邦人が多いようであるが、スバンジャヤメディカルセンター、タワカル病院、チャイニーズマタニティ病院などでも十分可能である。早産、流産などへの対応も可能である。

(2) 出産後の対応

出産した病院で母子ともに検診をしてもらえる。出生日から新生児の予防接種が始められる。

(3) 育児

哺乳瓶、おむつ、粉ミルク、ベビーパウダー、ベビー石けん、乳児用衣類など基本的な育児用品は入手可能である。幼児は比較的病気にかかりやすいので衛生状態に留意することが必要である。

4-5 手術

(1) 任国で可能な手術

前述の国立、私立総合病院では、ほとんど全ての分野の手術が可能である。スバンジャヤメディカルセンターの場合、内科、小児科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、心臓外科、外傷治療、新生児への対応も十分である。しかし、技術レベルや術後の食事、言葉や精神的な問題などを考慮して、大きな手術は日本で受けることを勧める。

(2) 手術設備の状況

パンタイ病院、タワカル病院、スバンジャヤメディカルセンター、アンパンプテリスペシャリスト病院には最新の設備が揃っている。

(3) その他の留意点

入院手続きにはパスポートとデポジットが必要である。緊急の場合は後からでもよい。割高になっても病室は個室をすることを勧める。リラックスでき、家族に付き添ってもらうにも都合がよい。パンタイ病院など、病院食のメニューを選択できるところもある。輸血用の血液は病院側で用意している。

4-6 任国でよくかかる傷病

(1) 一般の疾病

邦人がかかりやすいのは風邪である。これはクーラーによる屋内と屋外の温度差と湿気が原因とみられる。

特に注意を要するのは肝炎と破傷風である。肝炎の原因は、消毒が完全でない注射器、輸血、性行為によることが多く、食物による経口感染は少ない。ただし、農村部での生水には注意した方がよい。

気温、湿度が高いため、皮膚病にかかりやすい。体は常に清潔に保っておくこと。また、怪我をしたり蚊に刺されたところを掻いたりすると、化膿しやすく治りにくい。

(2) 風土病・伝染病

コレラ、赤痢などの伝染病は、農村地帯の一部を除き、まず心配はない。

マラリアは、半島マレーシアとサラワクでは撲滅されたが、サバのクダット地方などジャングル地帯ではまだ発生している。クタキナバル、サンダカンなどの都市部では心配はない。

デング熱は都市部において増加傾向にあり、死亡者も出ており注意を要する。近年は建設ラッシュにより年中流行している。

(3) 有害動物、病害虫

デング熱は蚊が媒介する。家の周りに蚊の発生を促すような水たまりを作らないことが肝要である。

4-7 保健衛生

(1) 飲料水

都市部では上水道が普及しており、問題はない。しかし、水道管（石綿管が多い）が老朽化しているため、サビなどが混入して水質が多少落ちている。飲用には煮沸消毒をすることが望ましい。

(2) 浄水器の入手

クアラルンプールで入手できる。

(3) その他の留意点

典型的な熱帯雨林気候であるため、食中毒には要注意である。魚・肉などの生ものは冷凍保存が望ましい。

5. 教育

5-1 教育事情

(1) 一般事情

小学校6年間、中学校3年間、高等学校2年間、大学予備教育2年間の6・3・2・2制である。大学は学科により3～5年制と幅がある。小学校から大学予備教育までの授業料は無料であるが、義務教育ではない。複合社会マレーシアの特性として、小学校には、マレー語を使用する学校、中国語を使用する学校、タミール語を使用する学校があり、個人の希望により選択することができる。いずれの学校でもマレー語は必須科目であり、英語は第2外国語として学ぶ。中学校からはすべての学校でマレー語を使用している。小学校1年～中学校3年までは自動的に進級するが、中学校卒業時および高等学校卒業時の国家試験で進路が分かれていく。

(2) 日本人学校

4つの正規校と、補習校が1つある。いずれも1学期は4～8月、2学期は9～12月、3学期は1～3月である。学期末・学年末、土・日曜日、マレーシアの休日、日本の天皇誕生日と子供の日は休校である。

～日本人学校	所在地	電話	備考
クアラルンプール (日本国大使館付属)	3km, off Jln. Lapangan Terbang, 47200 Subang, Selangor	03-746-5939	生徒数約 1,100人
ペナン	140 Sungei Penang Road, 10150 Penang	04-2812187, 04-2812685	生徒数約 150人
コタキナバル	3M, Tualan Road, Likas, Kota Kinabalu	088-221797	生徒数約 20人
ジョホール	6, Jalan Lembah, Off Persiaran Seri Alam, 81750 Johor Bahru, Johor	07-386-4562	生徒数約 70人
イポー補習校	No.1, Lorong Mentri, 30100 Ipoh, Perak	05-537530	毎週土曜日 9:30～15:15

(3) 現地校、外国人学校

日本人学校があるため、現地校やインターナショナルスクールへの編入学は少ない。インターナショナルスクールには入学・編入試験があり、授業が理解できないと判断された場合は、語学の補習を受けてからでないと入学許可は出ない。

資料は簡単に入手できる。インターナショナルスクールは次のとおりである。

学 校	所在地	電 話
The International School of Kuala Lumpur	Jln. Kerja Ayer Lama, Ampang, K.L. (P.O. Box 12645, 50784, K.L.)	4560522, 4570026
Sayfol International School	No.5, Jln. Madge, 55100 K.L.	2425110, 2413949
The Alice Smith School	No.2, Jln. Bellamy, 50460 K.L.	2483674, 2424910
Garden International School	No.2A, Jln. Selasih, Taman Cheras, 4 1/2 Miles, Jln. Cheras 56100 K.L.	9303117
Mont' Kiara International School	No.22, Jln. 1/70C, Off Jln. Bukit Kiara, 50480 K.L.	2536045

(4) 幼稚園

私立の幼稚園が各地にあり、英語で指導している。クアラルンプールには日本人学校の幼稚部（年長組）がある。

主な幼稚園は次のとおりである。

幼稚園	所在地	電話
クアラルンプール日本人学校 幼稚部	3km, off Jln. Lapangan Terbang, 47200 Subang, Selangor	03-746-5939
The International School of Kuala Lumpur	Jln. Kerja Ayer Lama, Ampang, K.L. (P.O. Box 12645, 50784 K.L.)	4560522, 4570026
The Alice Smith School	No.2, Jln. Bellamy, 50460 K.L.	2483674, 2424910
Garden International School of Kuala Lumpur	クアラルンプール:No.12 & 14, Persiaran Ampang Hilir, K.L.	4569030
	ペタリンジャヤ: No.6, Jln. Tinggi Road 6/12, Petaling Jaya.	7935200
Sayfol International School	No.5, Jln. Madge, 55100 K.L.	2425110, 2413949
Mont' Kiara International School	No.22, Jln. 1/70C, Off Jln. Bukit Kiara, 50480 K.L.	2536045

5-2 入学手続および授業料

(1) 日本人学校

小学校1年生から中学校3年生まで、全日制の授業を行っている。日本から持参するものは、前在籍校の在学証明書、指導要録の写し、健康診断書、歯の検査票である。

教科書は在学中の学校で「教科書給与証明書」をもらい、印鑑とともに東京または大阪の海外子女教育振興財団（P.15 参照）に提出し、給付してもらう。新入生（小学一年）として入学する場合は必要ない。ただし、当地に教科書の予備があるかどうか確認はしておくこと。入学児童が多いと入手に手間どる場合がある。

中学1年生で入学する生徒は、小学校の卒業証明書と小学校の指導要録の抄本が必要となる。当地で提出するものは、入学願書、調査書、誓約書、家庭環境調査表、寄付確約書、スクールバス傷害保険加入申込書である。学校により若干異なる場合があるので問い合わせること。

各日本人学校の諸経費は次のとおりである（RM = リンギット）。

日本人学校	入学金	授業料	P T A 会費	スクールバス	維持建設資金
クアラルンプール	RM800	小学生 RM320、 中学生 RM350	第1子 RM 5、 第2子 ~ RM 3	約 RM99~144	RM50
ペナン	RM300	RM220	RM10 (父母会)	RM40~100	なし
コタキナバル	RM200	RM240	1 家庭 RM 8	RM20	なし
ジョホール	RM850	小学生 RM540、 中学生 RM640	RM50	RM240	RM80

上記の他、寄付金などがある。

(2) 現地校、外国人学校

学期途中の編入は制限されることがある。Garden International School (前ページ参照) は入学は容易であるが、卒業はむずかしい。また、中学部は5年間であるため、日本の高校2年生で終わることになり、日本での大学受験時に問題となるので注意を要する。

(3) 幼稚園

定員内であれば、学期途中でも入園は認められることが多い。通園手段はスクールバスが一般的である。

クアラルンプールにある幼稚園の諸経費などは次の通りである (RM=リンギット)。

幼稚園	入園料	保育料	学期	言語	対象
日本人学校	RM300	RM370/月	3	日本語	5歳
International School	RM12,000	RM16,500/年	2	英語	4～6歳
Sayfol International School	RM2,500	RM750/学期	3	英語	4歳
The Alice Smith School	RM4,100	RM2,430/学期	3	英語	4歳
Garden International School	RM500	RM880/学期	3	英語	3～6歳
Mont' Kiara International School	RM9,750	RM13,500/年	3	英語	3～6歳

5-3 教育関係施設

(1) 図書館

各学校の付属図書館の他には邦人子弟が利用できる施設はない。

(2) スポーツ施設

空地を利用した簡易なものを含め、至るところでスポーツを楽しむことができる。

5-4 家庭学習

(1) 家庭教師

英語、マレイ語の家庭教師は数多い。

(2) 通信教育

海外子女教育振興財団が行っている海外向けの通信教育がある。小学校、中学校の国語、数学、理科、社会などが受けられる。詳細は下記に問い合わせるとよい。

海外子女教育振興財団 インターネット：<http://www.joes.or.jp>

東京本部

住所：〒105-0000 東京都港区虎ノ門 1-21-17 虎ノ門NNビル 6階

電話：03-3580-2521

関西分室

住所：〒530-0001 大阪市北区梅田 1-3-1-200 大阪駅前第一ビル 2階

電話：06-344-4318

(3) 携行したほうがよい家庭用学習教材

音楽の授業に必要な教材 (笛など) は持参したほうがよい。

(4) 塾

送迎サービスのある、邦人子弟向きの塾がある。

6. 家庭の使用人

6-1 一般事情

邦人はコンドミニアムに入居することが多くなり、使用人を雇用しない家庭も多い。子供の多い人、住居面積の広い人、種々の活動で多忙な人は雇用しているが、使用人の給与がインドネシア、タイなどに比べてかなり高いこともあり、雇用は一般的ではなくなってきた。

6-2 運転手

(1) 雇用

運転手の雇用は一般的ではない。タクシーの送迎を月極めで契約することがある。

(2) 日常管理

該当情報なし。

(3) 教育指導

該当情報なし。

(4) その他の留意点

該当情報なし。

6-3 家政婦／夫

(1) 仕事の種類と人数

該当情報なし。

(2) 雇用

住み込みではなく、パートタイムで雇うのが一般的である。ただし、適当な人材を探すのは容易ではない。実際の雇用は専門の代理店に依頼する。契約時に、待遇、雇用内容などを具体的に定めた方が無難である。

現在、家政婦／夫のほとんどはインドネシア人やフィリピン人などの外国人労働者で占められている。フィリピン人は英語ができ、教育レベルもある程度高いので、給与はインドネシア人より若干高くなる。

(3) 日常管理

該当情報なし。

6-4 庭師、ガードマンなどの雇用

(1) 雇用

コンドミニアムではガードマンが24時間警備しているため、特に専属ガードマンの必要はない。警備会社から派遣してもらうことも可能であるが、割高である。

7. 交通事情

7-1 交通手段

(1) 一般事情

<タクシー>

都市部ではかなり発達しており、クアラルンプールのような大都会では、無線タクシーが24時間サービスを実施している。また、大都市間の乗り合いタクシーがあり、便利である。料金は次のようになっている（RM = リンギット）。

- ・メーター制で、距離による算出と時間による算出がある。
 - a) 2km まで RM2.00、その後 200m ごとに RM0.10 加算
 - b) 最初の2分間まで RM2.00、その後 45 秒ごとに RM0.10 加算。
- ・電話予約は1回につき RM1.00 加算される。
- ・深夜 12 時～朝 6 時はメーター料金の 50% 割り増し。
- ・トランク使用は1回につき RM1.00。
- ・乗客 3 人目から 1 人当たり RM0.20 加算。
- ・高速道路の使用料は全額乗客負担。

クアラルンプール周辺の主なタクシー会社とその電話番号は次のとおりである。

Hotline.....255-3399

New Supercab775-7333

Teletaxi221-4034

SW Radio Taxi.....293-6211, 293-6213

Radio Cab.....221-2188

Public Cab718-1718, 718-0727, 718-0734

Radio Taxi Bersatu ...457-5766

Comfort Radio Taxi ...733-0507, 733-0495, 733-0513, 292-2525, 292-2508

<鉄道>

- ・KIM Commuter：クアラルンプール市および周辺地域（通称クランバレー）で運行している。
- ・LRT=Light Rail Transit：クアラルンプール市内を走る近距離小型電車。
- ・PRT=People-mover Rapid Transit：クアラルンプール中心部の繁華街辺りを走るモノレールで、現在建設中。

その他、マレー半島を縦断（バンコク～マレーシア～シンガポール）している長距離国際列車がある。

寝台車には1等寝台（冷房付き、冷房なし）、2等寝台、座席の区別があり、普通車にも特等、1等、2等の区別があるので注意すること。

<バス>

長距離バス網が発達しており、ほとんどの都市、町にアクセスが可能である。便数も多い。通常、鉄道やバスのチケットは1週間前から発売されるが、国民の休日（日本のゴールデンウィークのような連休が年間3回ほどある）にあたるチケットは1ヶ月前から発売されるので注意すること。

<国内航空>

マレーシア航空が、クアラルンプールからクアタタン、クアラトレンガヌ、イポー、ペナン、アロースター、コタバル、ジョホールバル、クチン、シブ、ピントウル、ミリ、ラブアン、コタキナバル、サンダカン、ラハドトゥ、タワウ間を運航している。

(2) 自家用車を利用する場合

一般に交通道德の意識は低く、交通事故が多発している。カーブや見通しのきかない道での追い越し、不十分な車間距離、スピードの出し過ぎ、ライト切れなどが多く、運転にはかなり神経を使う。特に、蛇行した道で無理な追い越しをかけられることがよくあるので、慣れないうちは長距離運転はしない方がよい。

西マレーシアでは新線道路が完備しており、ほとんどの都市、町にアクセスが容易である。

(3) レンタカーなどを利用する場合

AVIS、Hertz、トヨタなどのレンタカー会社があり、主なホテルで手配することができる。料金は車体のクラスによって異なるが、1日150～200リンギット程度である。ただし、タクシーやハイヤーの料金が割安なため、レンタカーの使用は一般的でない。

(4) 道路地図

書店またはガソリンスタンドで入手可能である。

7-2 交通事故

(1) 対処方法

当地の総合自動車保険 (Comprehensive Cover) に加入していることを前提に、3つのケースについて述べる。

<車両単独損害の場合>

まず、自動車修理工場に折衝して修理見積もりを依頼すると同時に、加入している保険会社に事故報告をする。修理工場は保険協会 (PIAM) 認定の工場であることが必要である。修理代は保険契約で定められている自己負担額を直接修理工場へ支払う。残金は保険会社が修理工場へ支払う。

<第三者の車両に損害がある場合>

まず相手車両の登録番号を確認する。次に相手の住所、氏名、電話番号、IC番号を聞き、相手が加入している保険会社、保険証券番号も確認して記録する。さらに、目撃者がいれば、その人の住所、氏名、電話番号なども記録する。

事故現場では事故の責任問題については一切言及せず、できるだけ事務的な情報交換に留めること。特にこちら側が全面的に責任を負うようなケースであっても、責任の有無は保険会社の判断に任せる旨を相手側に告げるに留めておくことが肝要である。そのほかの手続きは前述のとおりである。

<人身事故の場合>

保険金支払いに関する手順は、前述の物的損害発生時と基本的には同じである。

相手が死亡、または重傷を負った場合、あるいは責任の所在が複雑な場合には、双方の指定した弁護士同士で協議することになり、自分自身で直接交渉をするケースはあまりない。日本と比べ、きわめて事務的に処理されるのが普通である。

人身事故発生時に注意すべきことは、事故現場での身の安全である。当地では、今でも被害者側からの直接的報復の例がある。これは郊外だけでなく市内でも同じである。また、被害が牛・馬あるいは鳥といった家畜類に及んだ場合も同様である。

危険がふりかかると感じたら速やかに現場を離れ、警察または消防署へ報告して、被害者救助の手立てを講じるとよい。警察への報告は事故発生後 24 時間以内に行えばよいことになっており、事情により被害者を残して現場を立ち去っても、直ちにひき逃げとは見なされない。

以上、3つの事故発生後の措置について述べたが、いずれの場合も警察への報告が義務づけられている。この際、ICカードまたはパスポート、自動車登録票、自動車保険証書を持参する必要がある。また、保険請求の際には、Police Report の提出が必要となる。

主な日系保険会社は次のとおりである。

安田火災海上保険 (Yasuda Fire & Marine Insurance Co., Ltd.)

所在地：15th Floor, Wisma Sime Darby, Jln. Raja Laut, 50350 K.L.

電話：2936461

日本火災海上保険 (Malaysia & Nippon Insurance Bhd.)

所在地：Level 25, Menara Lion, 165, Jln. Ampang, 50450 K.L.

電話：2638133

大正海上火災保険 (Taisho Marine and Fire Insurance(M) Sdn. Bhd.)

所在地：18th & 19th Floor, Wisma Nusantara, Jln. Punchak, off Jln.

P. Ramlee, 50250 K.L.

電話：2329711

住友火災海上保険 (Sumitomo Fire & Marine Insurance Co., Ltd.)

所在地：c/o Hong Leong Assurance Sdn. Bhd., 18th Floor, Wisma HLA, Jln.

Raja Chulan, 50200 K.L.

電話：2414022、2484325

東京海上火災保険 (Tokio Marine & Fire Insurance Co., Ltd.)

所在地：c/o Berjaya General Insurance Sdn. Bhd., Level 11, Shahzan

Prudential Tower, 30, Jln. Sultan Ismail, 50250 K.L.

電話：2414150、2413323

(2) 救急病院

救急病院は 24 時間態勢である。公共の救急車（電話 999）がある。また、有料であるが病院付属の救急車を呼ぶこともできる。

Private Ambulance Service (私立救急車サービス)……754-1111

Pantai Hospital (パンタイ病院)……………285-2288

Subang Jaya Medical Centre (スバンジャヤ病院) ……730-6040

(3) 盗難

窃盗シンジケートがあり、邦人も被害に遭っている。車両が戻る確率は低いので、保険の求償が現実的である。盗難現場の地域の管轄署に届けると同時に、保険会社に連絡する。予防策としては、高級車には乗らない、特別製のキーをつける、ホテルの

ボーイに車（キー）を預けない、駐車は人目につきやすい場所にする、車内に荷物を置かないことなどがあげられる。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

日本と同様に左側通行であり、法規もほぼ同様である。一方通行が多く、右折用の信号がかなり多いので注意を要する。マレイシア交通法規集（Highway Code、3リングット）を入手して、通読しておくといよい。

(2) 対処方法

該当情報なし。

7-4 車の修理

(1) 部品

日本メーカーが進出しており、各代理店がある。大抵の部品は入手可能である。

(2) 修理工場

購入したディーラーに持ち込むのが無難である。当地でノックダウン生産をしているので、技術的には信頼できる。簡単な故障であれば、ガソリンスタンドでも見てもらえる。

また、AAM（The Automobile Association of Malaysia）という24時間体制のサービスシステム（メンバー制）がある。日本のJAFや米国のAAAのような組織である。

AAM (The Automobile Association of Malaysia)

所在地：25, Jln. Yap Kwan Seng , 50450 Kuala Lumpur.

電 話：2425777

8. 通信

8-1 電話

(1) 一般事情

電信電話事業はテレコムが行っている。テレコムは 1986 年 6 月に民营化され、Telekom Malaysia Bhd. に改組された。国際電話網は人工衛星と海底ケーブル、国内電話はマイクロ波が主に使われ、都市部では光ケーブルが導入されている。電話交換設備の改善もすすみ、8 割はデジタル交換機になっている。

電話設置率はクアラルンプールでは 80% 以上、各中核都市部でも 60% 以上である。

(2) 国内電話

テレコムの民营化によりサービスは充実している。プッシュ回線の導入が進んでおり、携帯電話、自動車電話、ポケットベルのシステムも整っている。

公衆電話はダイヤル直通で、市内通話は 3 分間 10 センである。1990 年 6 月にはカード式電話も整備され、長距離通話にも利用しやすくなった。ただし、長距離通話の際、稀に不通や混線などがある。

外国人向け住居の多くは既に電話が設置されている。新設するには、家主を通してテレコムに申し込むのが一般的である。申し込みから設置までは、数カ月を要することがある。

Telekom Malaysia Bhd. (テレコム・マレーシア)

所在地：Wisma Telekom, Jalan Pantai Baru, 59200 Kuala Lumpur.

電話：208-9494

番号案内：103

また、携帯電話も普及しており、申込当日より使用でき便利である。ただし電波の届かない地域もあるので、購入時に確認が必要である。各社とも、電話機 500~2,000 リンギット、登録料 500 リンギット、保証金 1,000 リンギットである。

携帯電話会社 (名称)	所在地	電話
Celcom	Ground Floor, Menara TR, 161 B, Jalan Ampang, 50450 Kuala Lumpur.	262-3900
Mobikom	Ground Floor, Wisma Cyclecarri, 288, Jalan Raja Laut, 50350 Kuala Lumpur.	294-0800
Maxis	Block A, Ground Floor, Wisma Semantan, 12, Jalan Gelenggang, Bukit Damansara, 50490 Kuala Lumpur.	252-2000
Time Telekom	Wisma Inai, 241, Jalan Tun Razak, 50400 Kuala Lumpur.	245-0000
Emartel	Plaza Raja Chulan, 8, Jalan Raja Chulan, 50200 Kuala Lumpur.	201-8686

(3) 国際電話

ダイレクトコールと、交換台を通すステーションコールがある。ダイレクトコール (IDD) は加入の際に自動的に登録されるため、別途申し込む必要はない。

ダイレクトコールは 1 分間 4.00 リンギットである。00 の後に国番号以下をダイヤルする。夜間、早朝の割引時間に日本へかけると 1 分間 3.20 リンギットである。

ステーションコールは、最初の3分間までが 12.00 リンギットである。交換台 (101) にダイヤルし、電話番号を告げて先方が出るのを待つ。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

普及しており、特に問題はない。

(2) テレックス

該当情報なし。

(3) 電報

24時間受け付けている。日本へ打電する場合、料金は1語1.30リンギットで、文字数の制限はない。日本国内への配達は、普通電報で8時間、至急で3～4時間を要する。

(4) インターネット

かなり普及しており、複数のプロバイダが政府の Telecommunication Department の認可を受けている。

Jaring (URL : <http://www.jaring.my/jaring/>)

登録料：個人 25 リンギット／年、法人 50 リンギット／年、

使用料：個人 50 リンギット (5,000 分まで)、法人 100 リンギット (4,000 分まで)

更新料：個人 20 リンギット、法人 50 リンギット

接続線：電話線、ISDN、専用線

登録手続き：申込書をパスポート、小切手と共に送付する。1～2週間後にアドレス、サーバー名などが送付される。

TMNet (URL : <http://www.tm.net.my/>)

登録料：25 リンギット

年会費：24 リンギット

使用料：0.10／分

接続線：電話線のみ

登録手続き：テレコムに出向き、パスポートおよびパスポートのコピーを提示して初年度の登録料を支払う。設定済のソフトウェアをその場で渡されるので、即日利用が可能である。

ISDN は日本ほど普及しておらず、設置に時間がかかる。

モデムは 33.6 kbps のものが出回っている。日本から持参したモデムも変圧器を用いれば利用できる。

8-3 郵便

(1) 一般事情

郵便事業は Pos Malaysia (マレーシア郵便会社) が行っている。主要都市では戸別配達されており、比較的安全である。小都市では P.O.Box を持つ必要がある。

課税対象になる小包は、郵便局より届いた通知書と、パスポートまたは IC カードを持参して引き取りに行く。荷物を開封して内容検査を受ける。

日本へ郵送する場合、料金はハガキおよび航空書簡が50 セン、手紙55 セン（～10 グラム）、小包空送27.50 リンギット（～250 グラム）、小包海送19.40 リンギット（～1 キログラム）である。所要時間は航空便で4～7日、船便では1ヶ月程度を要する。

Pos Malaysia Berhad (マレーシア郵便会社)

本社 (中央郵便局)

所在地 : Pejabat Pos Besar, Kompleks Dayabumi, Kuala Lumpur.

電 話 : 2741122

(2) 課税

購入して半年以内の電化製品には輸入関税45%、販売税10%が課せられる。また、貴金属、酒、タバコ、販売用とみなされた商品についても、それぞれの税率に応じて課税される。

9. マスコミ

9-1 新聞

(1) 主な日刊紙

英語、マレイ語、中国語、タミール語などによる、様々な新聞がある。通信社として国営のベルナマ社がある。

英字紙には『New Straits Times』、『The Star』、中国語紙には『南洋商報』、『星洲日報』など、マレイ語紙には『Berita Harian』、『Utusan Malaysia』などがある。

購読は月極めが一般的で、当地紙の場合は集金人払い、あるいはチェックによる送金が一般的である。

(2) 本邦日刊紙

主にOCSが取り扱っている。1ヶ月の購読料は『朝日新聞』235リンギット、『読売新聞』225リンギット、『日本経済新聞』250リンギットである。契約は3ヶ月単位が一般的であり、毎日午後に当日分が配達される。申し込み先は次のとおりである。

OCS (M) Sdn. Bhd.

取扱紙：『朝日新聞』、『日本経済新聞』

所在地：1st Floor, Wisma Yap Ka, 480, Batu 3, Jln. Ipoh, 51200 K.L.

電話：4438379、4439311

Harapan Equity S/B

取扱紙：『読売新聞』

所在地：Lot 116, Mezzanine Floor, Park Royal KL, Jln. Sultan Ismail, 50250 K.L.

電話：2446328

(3) 欧米紙

シンガポールより『International Herald Tribune』、『USA Today International』、『Asia Wall Street Journal』が届けられる。

9-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

国営のRadio and Television Malaysia (RTM) および民間数局が放送しており、それらの多くはFMで流されている。

(2) ラジオジャパン

北向きの高層アパートであれば、一般の短波ラジオでロッドアンテナにより聴くことができる。天候によって受信状態は変化するが、早朝、深夜は比較的良好である。高性能の短波受信機であれば、民放のラジオ短波も受信可能である。

(3) 聴取可能なその他の外国放送

BBC、VOAの感度はよい。

9-3 テレビ

(1) テレビ放送局

国営のRTMと民間数局が放送している。

RTM 1.....チャンネル 1

RTM 2.....チャンネル 2

TV 3チャンネル 3

Metro Vision ...チャンネル 8

Mega24時間ケーブル放送、全5チャンネル、RM45/月、

Tel : 716-1111

ASTRO.....24時間衛星放送、20チャンネル以上、RM80/月、

Tel : 583-6688

(2) テレビ受信

受信方式はPALシステムである。日本のテレビを持参しても受信はできない。マルチシステムのテレビを当地で購入することを勧める。

10. 教養、娯楽、趣味、スポーツ

10-1 映画、演劇

(1) 映画館

クアラルンプール市内とその近郊には多くの映画館があり、最新映画が上映されている。

(2) 劇場

国立劇場の建設が進んでいる。

10-2 出版、書籍

(1) 一般事情

書籍、週刊誌、月刊誌は欧米や香港のものが多い。単行本がよく出ている。

(2) 書店

大きなデパート内には必ず書店がある。Bukit Bintang Plaza 内には2店舗入っている。チェーン店としてはMPH Bookstore、Guardianなどがある。

日本書籍は、伊勢丹、そごう内の紀伊国屋、ダマンサラウタマのジャヤジャスコ内にある丸善、日本人会で入手できる。価格は日本の1.5～3倍程度である。

10-3 語学学習

(1) 語学学習施設

多くのカレッジがあり、英語をはじめ、中国語、マレイ語、フランス語などが容易に学べる。また、日本人会でも英語、マレイ語の学習コースが開かれている。

マレイ語は、官公庁・政府機関などの内部会議、または日常業務上の主な使用言語であり、特に修得を勧める。

British Council Language Center (英語) TEL:2306304

Centre of Languages (英語、中国語) TEL:7568289

Time Spoken Language Centre (英語、マレイ語) TEL:2921595

Ernesco Motivational Language Center (英語、マレイ語、中国語) TEL:2322260

(2) 家庭教師

知人に紹介を依頼するか、日本人会の掲示板を利用して探すといよい。

10-4 文化活動、文化施設

(1) 一般事情

クアラルンプール市内に国立博物館、美術館がある。デパートでも各種催しが開かれている。

国立博物館

所在地：Jln. Damansara

電話：2380255

国立美術館

所在地：Jln. Sultan Hishamuddin

電話：2424047

国立動物園、水族館

所在地：Jln. Ulu Klang

電話：4083422

(2) 日本・友好協会などの有無と活動の内容

日マ協会（住所：Perak 電話：05-537530）がある。

(3) その他の文化活動、文化施設

Japan Information Service、British Council、Lincoln Cultural Centre、Alliance Francaise、Goethe Instituteなどで各国主催、後援の催し物がある。

10-5 写真、ビデオ

(1) 写真

フィルムは主にコダック、フジが出回っており、日本と同じ製品が購入できる。カメラやフィルム、カメラ用品は日本より廉価である。また、新製品は日本より早く発売される。

1時間で仕上がるDPEサービスが普及している。

(2) ビデオセット

PAL方式のビデオデッキは1,000リンギット以下で購入できる。ビデオテープはVHSが主流である。ただし、PAL方式では日本のビデオが再生できないので、マルチ方式のデッキを勧める。この場合、テレビ受信機もマルチ方式のものが必要である。

(3) 各種テープ

レンタルビデオショップが多数ある。また、日本人会のビデオショップなどには日本の人気テレビ番組のテープがあり、よく利用されている。

10-6 音楽鑑賞、演奏、民族楽器

(1) 音楽会、コンサート

内外の著名なアーティストによるコンサートやパフォーマンスが開かれている。

会場はPutra World Trade Centre（プトラ世界貿易センター）、Shah Alam Stadium（シャーアラムスタジアム）、Stadium Negara（国立スタジアム）、Kuala Lumpur City Hall（クアラルンプール市議会ホール）、Petaling Jaya Civil Centre（ペタリンジャヤ公民会館）、MCAホール（MCA党本部）などが多く、新聞の娯楽欄などに案内が出る。

(2) コーラス、演奏グループ

日本人会の掲示板に、コーラスや楽器演奏のメンバー募集がよく出る。

(3) ピアノなど

Selangor School of Music（35 Jln. 5/4E, P.J.）やYamaha Music（72A Jln. SS2/60, P.J.）などの音楽教室があり、特にエレクトーンが人気である。他にも大小の音楽教室がある。

(4) CD、レコードなど

デパートのなかには何軒ものレコード店があり、新譜が売られている。CDも出回っている。音楽テープは香港、シンガポールから大量に入ってきており、ロイヤリティーを支払った商品は約10リンギットである。邦楽もあり、歌謡曲やポップスが中心である。また、ラジカセは240ワット、300ワットの小型で高出力のものが多く、廉価で購入できる。

(5) 民族楽器

マレイ、中国、インド系の人がいるので、それぞれの特徴のある楽器を求めることができる。

(6) その他の楽器

該当情報なし。

10-7 手芸、絵画、美術工芸

(1) 手芸

特殊なものを除き、百貨店、スーパーでは手芸材料が豊富に揃っている。毛糸類は日本より安い。

(2) 絵画、美術工芸

絵画、美術銅版、パティック、水墨画などを習う人が多い。人数が集まれば先生に出張してもらうこともできる。

Kuala Lumpur College of Art

所在地：321-C Jln. Tuanku Abdul Rahman, K.L.

電話：2988548

10-8 趣味

(1) 園芸

ブーゲンビリア、ハイビスカス、ランなど熱帯地方の花が楽しめる。種苗はスंगाイプロの種苗生産センターや空港近くのランセンターで購入するとよい。

(2) 釣り

当地の人はスズ鉾跡の池や小さな川などで釣りをしている。ライギョやコイ類、ナマズ類、オニテナガエビが釣れる。また、ジャングルの奥に入った川では、アロワナも釣れる。海釣りは漁船をチャーターして楽しむことが多い。クアラルンプール近郊では、ポートディクソンやパンコール島がよい。釣り具は入手可能である。

10-9 娯楽、遊戯など

(1) 娯楽、遊戯、ゲーム

娯楽に関する情報は、観光案内の本やパンフレットをはじめ、新聞紙上やテレビニュース、日本人会からの通知などで知ることができる。当地の人々にポピュラーなのは、テレビ鑑賞やレンタルビデオ鑑賞であり、次に映画鑑賞である。

公認のカジノと競馬を除き、賭事は禁止されている。

(2) レジャーランド、娯楽場、遊園地

クアラルンプール近郊の子供が喜ぶレジャーランド、娯楽場、遊園地として次のものがある。

Mines Wonderland (マインズワンダーランド)

所在地：10.5 miles, Jalan Sungai Besi, Seri Kembangan, Selangor.

電話：942-5010

Sunway Lagoon (サンウェイラグーン)

所在地：3, Jalan PJS 11/11, Bandar Sunway, 46150 Petaling Jaya, Selangor.

電話：735-6000

Genting Highlands (ゲンティンハイランド)

所在地：Genting Highlands Resort, 69000 Genting Highlands, Pahang.

電話：211-1118

その他、動物園もある。

(3) ディスコ、カラオケ

該当情報なし。

10-10 スポーツ

(1) ゴルフ

国内に100ヵ所以上のゴルフコースがある。そのほとんどがメンバーズクラブであり、ビジターはあまり歓迎されない。クラブにより異なるが、個人会員、法人会員、時限（1年間など）会員などがあり、時限会員の会員権の相場は約5,000リンギットである。

許可されるゲストの人数は、通常2～3人までである。また、週末はゲスト不可のクラブもある。

ゴルフ用品は外国製品を含め、様々なメーカー品を入手できる。価格は日本と同様か、またはそれより安価である。

プレーに際しては、強い日差しを避けるため帽子を忘れずに用意すること。また、格式ばらないコースでは半ズボンによるプレーもできる。

グリーンフィーはおよそ50～150リンギット（土・日曜日）、キャディーフィーは1ラウンドおよそ5～15リンギットである。

クアラルンプール近郊の主なコースは次のとおりである。

ゴルフクラブ	所在地	電話
Sungei Long Golf & Country Club (スンガイ・ロング・ゴルフ・カントリークラブ)	11.5 Miles, Bandar Baru Sungei Long, 43000 Kajang, Selangor.	8373733
Palm Garden Golf Club (パーム・ガーデン・ゴルフ・クラブ)	7 Miles, Jalan Kajang-Puchong, 43000 Kajang, Selangor.	9487153
Kajang Hill Golf Club (カジャン・ヒル・ゴルフ・クラブ)	Lot 1917, Off Km 29, Jalan Semenyih, 43500 Semenyih, Selangor.	8137777
Valencia Country Club (ヴァレンシア・カントリークラブ)	Lot 4403, Main Road, Batu 12, 47000 Sungai Buloh, Selangor.	6560021
Templer Park Country Club (テンブラパーク・カントリークラブ)	Km 21, Jalan Rawang, 48000 Rawang, Selangor.	6919617
Saujana Golf & Country Club (サウジャナ・ゴルフ・カントリークラブ)	3 Miles, Off Jalan Lapangan Terbang, 47200 Subang, Selangor.	7461466

(2) テニス

頻繁にプレイする人は、テニスコートを備えたコンドミニウムに住むとよい。また、ホテル、スポーツクラブなどの会員となって楽しむ人も多い。

(3) 水泳

プールを備えているコンドミニアムが多い。また、学校にもプールがある。ともに管理が行き届いており、衛生的である。そのほかパブリックプールやホテルのプールも利用できる。海水浴にはマレイ半島東海岸、サバ州、サラワク州のビーチを勧める。

(4) その他のスポーツ、用具、ウエア

盛んなスポーツは、サッカー、バドミントン、スカッシュ、当地特有の竹製ボールを使うセパタクロー（蹴鞠に似ている）などである。

(5) スポーツクラブなど

クアラルンプールには多くのスポーツクラブがあり、テニス、スカッシュのほか、水泳、エアロビクス、ウエイトトレーニングなどができる。

Nikko Hotel (ニッコーホテル)

電話：261-1111

設備：サウナ、スチームバス、ハイドロプール。

MiCasa Hotel Apartments (ミカサホテル)

電話：261-8833

設備：プール、スカッシュコート、テニスコート、マッサージ。

Pan Pacific Hotel (パンパシフィックホテル)

電話：442-5555

設備：サウナ、プール、テニス、スカッシュ、ジム、マッサージ。

Regent Hotel (リージェントホテル)

電話：241-8000

設備：ジム、サウナ、スチームバス、回転風呂、プール、マッサージ。

10-11 子供の遊び

土・日曜日には、サッカー、水泳、剣道、柔道などのクラブに通っている子供が多い。日常の遊びは日本と同様、コンピュータゲーム、スケートボード、ローラースケート、レゴブロックなどである。中学生になるとショッピングやボウリング、映画鑑賞を楽しんでいる。日中は暑いので、夕方から遊ぶことが多い。

11. その他のサービス

11-1 金融機関

預金には定期預金(Fixed Deposit)、普通預金(Saving Account)、当座預金(Current Account)がある。最低預け入れ金は銀行により異なるが、おおむね、定期預金が5,000リンギット、普通預金が100リンギット、当座預金が500リンギット程度である。

その他、外貨定期預金も主要大手銀行(マ国/外資系)で扱われている。最低預け入れ金は1万米ドルにあたる主な外貨(英ポンド、独マルク、仏フラン、日本円など)が条件となっている。

銀行口座の開設には、パスポートと銀行備え付けの預金開設依頼書と署名カードが必要である。預金依頼書に必要事項を記入し、身分証明書(パスポート)のコピーを付けて提出する。当座預金の場合は、個人の紹介者を要求されることがある。

署名は漢字でも可能ではあるが、英語の方が一般的である。

銀行口座を閉鎖する時は、普通・当座預金とも、氏名、口座番号、いつまで開いておくかを記入したレターを作成して銀行に提出する。普通預金は残額を引き出すと自動的に閉鎖されるが、このレターを作成した方が確実である。また、普通預金の場合は通帳を、当座預金の場合は残りの小切手帳を銀行に返却する。

11-2 コンピュータ

主に出回っているのはIBM-AT互換機といわれるもので、日本でのDOS/Vパソコンとほぼ同様である。Macintoshもあるが、ソフトウェア、マニュアル、サポート業者の数は少ない。

「日本語版WINDOWS 95」などの基本ソフト(オペレーティングシステムOS)を用意すれば、英語のキーボードでも日本語入力ができる。また、当地で購入したパソコン本体に日本語キーボードを繋げて使うこともできる。

11-3 美容院・理髪店

美容院・理髪店はショッピングセンターやホテル内に多数あり、料金は様々である。

化粧品類は資生堂、カネボウ、コーセーなど、日本メーカーの製品が出回っているが、価格は高く新製品は少ない。また、日本で販売されているシリーズ(エリクシールなど)は入手困難であるため、現在愛用しているものがあれば持参した方がよい。一方、シャネル、クリスチャン・ディオールなどの外国製品は日本よりも安く、品数も比較的多い。

シャンプー、トリートメント剤は豊富であるが、ヘアートニックなどの整髪用品は品数が少なく、価格も高い。必要に応じて持参するとよい。

12. 観光

12-1 地方旅行上の留意点

外国人の国内旅行に関する規制は特にはない。ただし、東マレーシアに入国する場合はパスポートが必要である。

マレー半島東海岸および東マレーシアへ出かける際は、10月から3月にかけての雨季など、天候を考慮して慎重に計画すること。

一般的に治安は良好であるが、時には強盗や睡眠薬を使った盗難などの報道がある。また、麻薬、銃の不法所持、交通事故などに巻き込まれないよう注意すること。

半島～東マレーシアの移動時にはビザの提示が義務づけられているので留意すること。

12-2 主要観光地・保養地ガイド

都市においては、マレイ、中国、インド系の各文化が混在している様が特に興味深い。クアラルンプール在住者の主な観光スポットは、ペナン、マラッカなどである。これらの都市には航空機、鉄道、バスなどの交通の便も整っている。

各地の観光・保養ポイントは次のとおりである。

<Kuala Lumpur (クアラルンプール) >

高層ビルと緑のコントラストが美しい町で、ASEANの中ではシンガポールに次ぐ近代的な都会である。見どころとして、Batu Cave (バツァー洞窟)、KL Tower (KLタワー)、China Town (チャイナタウン)、Merdeka Square (メルデカ広場周辺)、Blue Mosque (ブルーモスク)、Jalan Bukit Bintang (ブキットビンタン通り)、Lake Garden (レークガーデン)、Tien Ho Temple (天后宮)などがある。

民芸品としてはローヤル・セラングール・ピューターと呼ばれるスズ製品が有名である。

<Pulau Pinang (ペナン島) >

シンガポールより歴史が古く、かつては東洋の真珠と呼ばれ、シーサイド・リゾートとして有名であるが、海水は汚染されている。見どころとして、イギリス植民地時代の要塞、官庁、教会、寺院、モスク、ペナンヒルや、ペナン橋などがある。

<Melaka (マラッカ) >

マラユ王朝の首都として栄えた。ポルトガルの拠点となったことから、フランシスコ・ザビエルも滞在したセントポール教会をはじめ、長崎を思わせる雰囲気がある。クアラルンプールから車で2時間ほどであり、日帰りで行くことができる。

<Johor Baru (ジョホールバル) >

マレー半島最南端の町で、シンガポールとの窓口である。マレーシアでもっとも美しいといわれるモスク、宮殿などが見どころである。また、海鮮料理が有名で、シンガポールから国境を越えて人々が食事に訪れる。クアラルンプールからシンガポールへ空路で行く場合、ジョホールバルから入国すると国内線料金で済み割安である。

<Ipoh (イポー) >

スズ鉱山の中心地である。広東料理がおいしい。人気コミックであるラットの『タウンボーイ』はこの町を舞台としている。クアラルンプールから列車で約4時間。航空便もある。

<半島西海岸>

Pulau Langkawi (ランカウイ島) ……リゾートビーチとして有名で、自由港にも指定されている。ペナンから航空機、対岸からフェリーなどの連絡がある。

Pulau Pangkor (パンコール島) ……ローカルのリゾートビーチであり、釣り場として有名である。対岸のルムットからフェリーが出ている。

<高原地帯>

Genting Highland (ゲンティン・ハイランド) ……カジノのある Genting Hotel やゴルフ場などがある。クアラルンプールよりバス、タクシーで約1時間。

Cameron Highland (キャメロン・ハイランド) ……1,500メートル以上の高地にあり、8～24℃と涼しいことから高原野菜、花、茶などの産地となっている。イギリス人の避暑地として発展し、タイのシルク王ジム・トンプソンが失踪した話は有名である。クアラルンプールから車で4時間半、列車では Tapah に行きバスに乗り替える。

Fraser Hill (フレイザー・ヒル) ……クアラルンプールより車で2時間の距離にあり、植物園、ゴルフコースなどがある。

<半島東海岸>

Kota Baru (コタバル) ……伝統工芸の中心地であり、マレイ色が強い。西海岸に比べ、ビーチが美しい。旧日本軍が上陸した地点としても知られている。クアラルンプールからは空路が一般的である。

Kuala Terengganu (クアラトレンガヌ) ……天然ガスを産出することから工業化が進められているが、近くの島は珊瑚礁が美しく、海亀の生息も知られている。

Pulau Tioman (ティオマン島) ……映画「南太平洋」の舞台となった、東海岸で最大の島である。リゾートビーチとしてはもっとも人気がある。クアラルンプールより週2回の航空便がある。また、メルシンより水中翼船が毎日1便運航している(予約: Rawa Bird Sdn. Bhd. TEL: 07-792589)。

<サバ州、サラワク州>

Kota Kinabalu (コタキナバル) ……かつて東インド会社の基地として栄えた町。マリンスポーツが楽しめるほか、キナバル山トレッキングのベースでもある。国際空港があり、クアラルンプールから毎日数便運航している。

Kuching (クチン) ……イギリスのブルック家が統治した美しい町。博物館は一見の価値がある。クアラルンプールから航空便が毎日数便運航している。

12-3 旅行

(1) 自動車

1994年に半島西海岸の南北縦断高速道路が開通した。一般道も比較的整備されており、車での旅行は可能である。クアラルンプールから各地への所要時間は、キャメロン・ハイランドまで5時間、クアンタンやパンコールまで4時間、フレイザー・ヒル、マラッカまで2時間半程度である。

ガソリンスタンドはマレイ系のペトロナスをはじめ、エッソ、シェルなどが揃っている。地方へのドライブはハイヤーの利用を勧める。また、夜間のドライブは避けた方がよい。

(2) バス

国内長距離バスはサービス網が発達しており、もっとも安価で便利な交通手段である。座席は指定でエアコン付きのバスも多い。クアラルンプールのプドウラヤ・バスターミナルから各地に便が出ており、チケットはこのターミナルで購入する。

冷房が強すぎることがあるので上衣を持参した方がよい。また、薬物入りの飲料を飲まされ、眠っている間に金品を奪われた例があるので注意すること。

(3) 鉄道

主要幹線はマレイ半島西海岸を走る南北線で、北はバンコクから南はシンガポールまで連絡している。東海岸線は急行が1便あるのみで一般的でない。南北線はクアラルンプールから毎日2便、シンガポール行き特急（7時間）を走らせているほか、夜行寝台、急行などの便がある。特急の場合、各車両にビデオが備えられており、食堂車では簡単な食事ができる。ただし、アルコール類は販売していない。チケットは通常1ヶ月前から駅または旅行代理店にて予約できる。

(4) 航空機

マレーシア航空は国内37都市のネットワークを有し、便数も比較的多い。特にシンガポール～クアラルンプール間は、シンガポール航空との乗り入れによりシャトルサービスを行っている。

なお、オーバリーブッキングが間々あるのでリコンファームを忘れないこと。また、早めのチェックインを勧める。

(5) 船舶

サバ、サラワクでは陸上交通より水路による高速船の連絡が発達している。現在のところ、マレーシア国内であってもサバ、サラワクに行く場合はパスポートが必要なので忘れないこと。

12-4 旅行代理店

JICA マレーシア事務所が主に利用している代理店は次の通りである。

Orex Travel & Tours Sdn. Bhd.

所在地：No.115, 3rd Floor, UBN Tower, 10, Jln. P. Ramlee, 50250 K.L.

電話：230-0928

Orient Network Tours & Travel (M) Sdn. Bhd.

所在地：Suite 20.01 A, Level 20, Menara Lion, 165, Jln. Ampang, 50450 K.L.

電話：261-0922

ITB (M) Sdn. Bhd.

所在地：Suite 9.01, 9th Floor, Menara Berjaya Prudential, KL Plaza, 179,
Jln. Bukit Bintang, 55100 K.L.

電話：242-7711、245-6058

12-5 ホテルなど宿泊施設の手配

直接ホテルに電話するか、旅行代理店に依頼する。支払いは現金またはAMEX、VISAなどのカードでも行えるが、パーソナルチェックは受付ないので要注意である。

13. 治安、緊急時の心得

13-1 暴動、クーデターなど

(1) 緊急時の連絡

1969年の人種暴動による国会機能の停止以降は、着実に秩序を回復し、今日では「安定した国」といわれている。

政策・政治家批判など不穏な空気がある時は、集会、デモなどが行われている場所、裁判所前、広場、モスク周辺など、多くの人が集まる場所には不用意に近づかないこと。

JICA事務所では万一の事態に備え、関係者間の緊急連絡網を整備している。

13-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況など

従来、東南アジアのなかでは安全な国といわれてきたが、1980年代中頃には一般犯罪が急増し、80年当時と比較して件数が2倍以上増加した犯罪もある。このような背景には、不法入国者の増加、麻薬にからむ犯罪の増加などがあるといわれている。近年、クアラルンプールおよびその近郊に居住している在留邦人も、様々な犯罪に遭遇している。ただし、1986年後半をピークに徐々に安定化しているようである。

最近では街でギャンブルに誘われるなどの手口が聞かれるので注意すべきである。

(2) 防犯対策

まず、最近の強盗・窃盗事件の傾向は次のとおりである。

強盗は従来、銀行、スーパー、宝石店などが主な対象であったが、最近では一般家屋もターゲットになっている。多くの場合、2～5人くらいの集団により深夜から早朝にかけて犯行が行われている。ナイフなどのほか、銃器を所持するケースも増えており、家人が抵抗したために殺人に発展したケースもある。

空き巣、忍び込みなどの侵入窃盗はかなり多く発生している。無施錠、または戸締まりのあまい出入り口や窓から侵入するケースがほとんどであるが、なかには天井裏から侵入した例も散見される。忍び込みは大抵深夜に行われるが、家人が気づいて抵抗した場合は、居直り強盗と化し殺人に発展するケースもあり、要注意である。

以上を考慮して次の点に留意すること。

<建造物による防衛（コンドミニアムも含む）>

- ・各出入り口は二重扉（ひとつは鉄格子）とすること。なお、バルコニーなどによるこじ開け防止のため、扉と支柱の接続部を補強することが望ましい。
- ・本扉にはのぞき窓を取り付け、強固な鍵を複数取り付ける。その他の出入り口も必ず1ドア2ロックとすること。できれば、出入り口1カ所につき3～4種類の錠（鉄格子扉を含む）をすることが望ましい。
- ・全ての窓に、容易に取り外せない鉄格子を取り付けることが望ましい。
- ・寝室を防護すること。寝室の出入り口も1ドア2ロックにし、就寝前の施錠を忘れないこと。

<コンドミニアムの防犯>

邦人の間では一戸建てからコンドミニアムへ移転する人が増えている。ほとんどのコンドミニアムには専属のガードマンが複数おり、建物全体の警備に当たっているか

らである。ガードマンの良し悪しは防犯上非常に重要であり、住居を決める際は、その警備体制を調べるのが大切である。ただし、警備体制が強固なコンドミニアムは家賃も相応に高いものとなる。

<外出時の防犯>

特に人通りの少ない路上でのひったくり、駐車場などでの恐喝などが多発している。

- ・夜間の外出は短距離でも車を利用すること。
- ・夜間の単独行動は極力避けること。
- ・照明のない道路は歩かないこと。
- ・駐車の際は、荷物は座席に放置せず、必ずトランクの中に入れること。
- ・治安が悪いといわれる地域への外出をできる限り避けること。
- ・タクシーは比較的安全といわれているが、夜間、女性がひとりで乗車することは極力避けること。

(3) 被害時の心得

犯罪に直面した時は、まず抵抗しないことである。付近に不審な人がうろついている場合は、ためらわずに最寄りの警察に通報すること。各警察署の電話番号は次の通りである。

クアラルンプール警視庁通信司令室・セランゴール州警察本部	999
Cheras (チェラス警察署)	984-2222
Sentul (センツール警察署)	442-2222
Dang Wangi (ダングワンギ警察署)	291-2222
Brickfields (ブリックフィールド警察署)	274-2222
Ampang (アンパン警察署)	457-2222
Petaling Jaya (ペタリンジャヤ警察署)	756-2222

13-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況など

地震による大災害はない。火災は時折、木造建物の密集地帯で発生している。雨季には東海岸を中心に度々浸水が起きている。

(2) 防災対策

クアラルンプール市内でも、年に1～2度浸水してしまう地域がある。それも考慮に入れて住宅地域を選定すること。

(3) 被災時の心得

慌てず、冷静沈着に行動するのが賢明である。緊急連絡網などを使って、その被害状況を速やかに JICA 事務所に連絡するとともに、必要に応じて救援を促すこと。

14. 出入国手続および帰国手続

14-1 入国時

(1) 空港施設概要

警察署が空港内（国内線到着ホールの建物の外からみて右）にあり、24 時間警官が常駐している。

24 時間営業の診療所がある（到着後、イミグレーションデスクへ向かうエスカレーターの手前、右）。

Kuala Lumpur（クアラルンプール）には、1998 年中に新国際空港が開港する予定である（1997 年 9 月現在、オープンスケジュールは未定）。

(2) 入国手続書類

機内で配られた入国カードに記入し、入国の際提示する。記入上、特に留意すべき点はない。

固定相場制の導入に伴い、1998 年 10 月 1 日から、入国時および出国時に携行する通貨額（現金、トラベラーズチェック）の申告が求められる。申告を正しく行うと共に、外貨交換の際には公定レートでの換金を行い、念のため換金証書を出国時まで保管すること。

動植物の持ち込みには検疫証明書が必要である。トラブルを避けるため、できればペットの持ち込みはやめた方がよい。

(3) 入国審査

審査時には、マレーシア来訪の目的、期間、滞在場所などを聞かれる。働くことを目的としてきた人には、通常 2 週間～1 ヶ月程度の臨時ビザが渡される。その有効期間内に出入国管理局本部へ行って、長期滞在ビザおよび数次再入国ビザを得る必要がある。長期滞在ビザは最長 1 年、数次再入国ビザは最長 6 ヶ月である。延長が必要な場合は、有効期限の 1 ヶ月前までには手続きを行う必要がある。ビザ切れは不法滞在となり、過大な罰金を課せられる。

(4) 税関検査

輸入禁止物は、貨幣や小切手などをデザインしたあらゆるもの、軍用刃物、国産 FM 付ラジオ、クラッカー花火、コーランが印刷されている衣類などである。

無税で持ち込めるのは、酒類は 1 本、タバコは 1 カートン、香水は 80 ドル程度のものである。また、週刊誌（週刊ポスト、現代などを含む）は風紀上厳しくチェックされるので持ち込まないこと。

麻薬類には特に厳しく、所持していれば外国人であろうと死刑を宣告される。

段ボール箱は開けられることが多いので、高価な品、新製品は入れない方がよい。

(5) 空港内での留意点

一度空港を出てしまっても、理由を告げれば空港内に入ることができる。

(6) 空港からの主な交通手段

24 時間営業のタクシーリムジンがある。税関を出て右に進むとタクシーチケットの販売デスクがあるので、そこで行き先を告げ、チケットを購入してから乗車する。深夜・早朝は 50% の割り増し料金となる。

バスは 1 時間に 1 本、クアラルンプール市内のバス・ステーション～空港間を

22:00 まで往復している。料金は約 2 リンギット、所要時間は約 30 分である。

(7) その他の留意点

食事やチップなどのために少額のリンギットを用意しておく必要がある。日本円の現金および TC は空港の両替カウンター（日曜日でも外貨交換できる）、市内の大手銀行（東京三菱、Maybank、Hongkong Bank、Citibank など）で交換できる。また、町中やショッピングセンターの中にも両替所がある。

大金を現金で持ち込むことは大変危険なので、赴任前に、日本国内にある東京三菱銀行で電信送金の手続きをしておくといよい。

空港内で、レンタカーやホテルの手配をすることができる。これらは、税関を抜けて左に進むと、エスカレーター左のカウンターにある。税関を抜けた所には、観光情報などを得られるカウンターもある。

到着ホールにおいても免税品が購入できる。一夜を越さないトランジットの場合はシンガポールからの到着でも購入可能である。

14-2 出国時

(1) 出国時の概要

出国時の諸手続きは次のとおりである。

- ・電光掲示板をみて、チェックインカウンター番号を確認する。
- ・係官の指示に従い、航空機に預ける手荷物を X 線に通す。
- ・出発 1 時間半前までにチェックインをする。この際、空港税としてシンガポールへは 5 リンギット、それ以外の国へ向かう場合は 40 リンギットを支払う。
- ・出国審査へ向かう。出国審査では滞在ビザが有効か否か確認されるのみである。

(2) 出国手続上の留意点

再入国には、再入国ビザが必要である。任国外旅行などの場合にはパスポート有効期間の確認も重要である。

14-3 帰国手続

(1) 帰国時に必要な事務手続

数次旅券の場合、一時帰国の際には再入国ビザを取得しておくことが必要である。そのほかの場合は、パスポート、ビザに関して一切問題ない。

(2) 車の処分

日本人会の掲示板や、「Malay Mail」という地方紙を利用して買い手を見つけるとよい。買い手が見つかり値段の交渉がすんだら、保険の名義を変更すること。

免税車を、免税特権を所持しない人に売却する場合は、税金を支払う必要がある。

(3) 家財道具の処分

車と同様、日本人会の掲示板などで引き取り手を見つけるとよい。

(4) 住宅の明け渡し

賃貸契約書にしたがい（通常 2 ヶ月前までに）、明け渡す旨を家主に通知する。

デポジットは、明け渡し日に返却される。

(5) 外貨持出し規制

持ち出せる外貨は、入国時に持ち込んだ外貨額（制限無し）の範囲内である。

残ったマレーシア・リンギットは 1,000 リンギットまで持ち出せるが、国外で他の

通貨へ両替することはできない。

ただし、口座から日本の家族、または自分の口座あてに電信で送金し、日本で日本円として引き出すことは可能である。

また、日本円の小切手を自分もしくは家族あてに作成（手数料約5リンギット）し、帰国時に自分で持ち帰ることもできる。帰国後、日本の銀行口座に預金した後、引き出せる。詳細は JICA 事務所に問い合わせること。

15. 私財の輸送、引き取り、購入

15-1 家財道具

(1) 輸送業者

当地の輸送業者には日系、欧米系、マレイ系などがあり、一般的に日系の会社が便利である。家財の返送には海送を使い、梱包を含めてドア・ツー・ドアで行われるのが一般的である。

当地から日本到着までは、空送で1週間、海送で15～17日間程度である。また、日本到着後、税関手続きに約1週間が必要である。

主な引越業者は次のとおりである。

Nippon Express (M) Sdn. Bhd. (日本通運)

所在地：Blok B, Lot 5 & 6, Agents Bonded Warehouse Cargo Complex,
K.L. Subang International Airport, 47200 K.L.

電話：7461322

Crown Line (M) Sdn. Bhd. (クラウンライン)

所在地：Lot 37645, Jln. 5/37A, Taman Bukit Maluri, Kepong, 52100 K.L.

電話：6351830

Trans-Asia Shipping Corp. Sdn. Bhd.

所在地：Suite 17.1, 17th Floor, Wisma Sime Darby, Jln. Raja Laut, 50350
K.L.

電話：2915577

(2) 輸入手続

輸入手続きは、日本国内で荷物を取り扱った業者が当地業者に連絡し、その関連業者が行うことになる。引き取りのためにはパスポート、パッキングリスト、B/L（船荷証券）などが必要であるが、通常はパスポートを預ければすべて業者が代行する。

日本からの発送に際して次の点に留意するとよい。

・半年以上日本で使用した物でなければ課税対象となる。高価なものは購入年月日のある領収証を持参すること。

・電化製品のチェックは厳しく、日本で販売されているラジカセなどはFMの受信バンドが軍事用のものと重なるので持ち込めない。また、炊飯器などの電化製品は、適合検査に約1ヶ月を要する。これら電化製品の課税額は50%である（当地で購入した方が安価な場合が多い）。

・ビデオテープ、書籍は検閲の対象となり、引き取りに約1ヶ月を要する。荷物には含めない方がよい。

・無税通関を申請する場合は、引き取りに約1ヶ月を要する。

(3) 輸入荷物の受取り港

該当情報なし。

(4) 家財道具の購入

該当情報なし。

15-2 自動車

(1) 一般状況

当地では三菱の協力で生産されている国民車 Proton (プロトン、Saga 型, Iswara 型, Wira 型, Perdana 型, Putra 型, Satria 型, Tiara 型)、およびダイハツとの合弁で出来た第2国民車 Kancil (カンチル)をはじめ、トヨタ、日産、ホンダ、マツダなどの日本メーカーや、フォード、ボルボ、BMW、ベンツなど欧米メーカー各社がノックダウン生産をしている。

(2) 輸入手続

当地生産している車種の新車は輸入できない。本人が日本で使用しており、かつ生産から5年以内のものであれば可能である。

日本で貨物業者に発送を依頼し、当地では引き取り業者に任せる。申請すれば消費税、販売税の免除を受けられるが、帰国時に譲渡する際、買い手によってはこれらの税を支払う必要が出てくるので、申請しない例が大半である。

輸入手続きには、本人の所有を証明するための廃車証明、保険会社からの無事故証明(英訳)、車の仕様書などが必要である。引き取りには約2ヶ月を要し、免税手続きをすれば、さらに1~2ヶ月を要する。

(3) 任国での購入

車種を選択にあたっては、クーラーの弱い1,500cc以下の車を避けること。また、中古車は安価であるが、故障の修理費が高つくことも考慮しておいた方がよい。

ディーラーから新車を購入する場合は、見積書を取り寄せ、仕様、価格、保険などの確認と交渉を行う。人気の高い車は生産に時間がかかるため、入手に数カ月を要する場合がある。発注の際に一部を支払い、手続き終了後、鍵と引き替えに残額を小切手で支払う。

免税手続きを行うと、消費税と販売税の支払いは留保されるが、免税車両を特権免除の対象でない人に売却する際、支払い義務が生ずる。免税手続きは所属政府機関を通じて行うが、通常で1ヶ月、ときには数カ月を要することがある。

(4) 自動車登録

ディーラーから購入する場合、免税手続きを除き、必要な手続きはすべてディーラーが代行するので特に問題はない。

個人から譲渡される場合は、該当車両の登録されている JPJ (Road Transport Department) の各事務所に両者が出頭して手続きを行う。また、その代行業者があるので利用してもよい。登録料は100リンギット程度である。

ナンバープレートには、アルファベットで車の登録地が示され、一般車両は黒地に白文字、王族は黒地に黄文字、外交団用は赤地に白文字の表示で区別されている。

車検制度はない。新車の場合は、ディーラーが走行距離または期間に応じ、無料(部品交換等を除く)で検査を行っている。

(5) 免許証取得

1年以内であれば国際免許証も有効であるが、長期的に運転する場合は、早めにマレーシアの免許証に書き換えることを勧める。在マレーシア日本大使館で日本の免許証の翻訳証明書をもらい、JPJ (Road Transport Department) の Register and

Inspector of Motor Vehicles (RIMV) に持参すると、比較的簡単にマレーシアの免許証に書き替えられる。免許証更新手続きは中央郵便局あるいは最寄りの大きな郵便局でもできる。

(6) 保険、税金

道路交通法により、公道での自動車の使用による第三者傷害に対し、賠償保険を付保するよう義務づけられている。保険には「対人賠償（強制保険）」、「対人・対物賠償」、「対人・対物・火災・盗難」、「対人・対物・車両（総合）」の4種類があるが、事故が多いので総合保険が望ましい。新車購入時にディーラーを通して加入するが、日系の保険会社（7社）を指定した方が、事故の際処理しやすい。

総合保険では、価格 50,000 リンギットの 2,000cc 車両の場合、基本保険料は年間 1,541.70 リンギットとなる。日本で入っていた保険会社からの無事故証明書があれば、無事故割引（年 25%）が適用される。

事故の際は、警察へ通報してから、保険金請求書を保険会社に提出し、申請をする。事故車は保険協会の認定した工場で修理する必要がある、あらかじめ保険会社と相談しておくこと。修理代は直接修理工場に支払われる。対物、対人事故の場合、相手方との交渉は保険会社によって行われる。

16. 社交

16-1 風俗習慣

各民族が、独自の文化、言語、宗教を持ちつつ、他民族の多様な風俗習慣をも尊重して生活している。

通常、男性は洋服を着ているが、家でくつろぐ時や式典の時には民族特有の衣装を纏う。女性の服装は、都会では洋装化が進んではいるものの、マレーシア女性はバジュークルーンと呼ばれる裾の長いツーピースを着るのが普通で、インド女性の多くはサリーを着用している。中国女性は年配者を除いて完全に西洋スタイルである。

食習慣については、イスラム教徒は豚肉、ヒンズー教徒は牛肉を食べることを禁じている。また、イスラム教徒は、鳥肉やマトンでも宗教の礼に則って屠殺されたもの以外は食さない。

留意すべき各民族の風俗習慣や称号は次のとおりである。

<マレイ系>

- ・左手は不浄なものとされているので、握手や物の受け渡しには必ず右手を用いる。
- ・人差し指で人を指すのはきわめて失礼なことである。あえて人を指す場合は、握りこぶしを作り、親指で示す。
- ・頭は神聖な場所とされているので、子供の頭を撫でたりしてはいけない。
- ・王族と同席する際、足を組んではいけない。また背中を見せるのは失礼とされているので、王族の前から退く時は逆歩すること。
- ・18:45~19:30頃までは夕刻のお祈り (Magrib) の時間なので、訪問および電話は避ける。パーティーやレセプションも 19:30 以降に開始するのがよい。
- ・マレイ人の家では靴を脱ぐ。先方が手を出さない限り、女性に握手を求めない。また、女性の方からイスラム教徒の男性に握手を求めるのも失礼とされる。
- ・一夫多妻の風習があるので、むやみに家族関係のことは話題にしない方がよい。
- ・イスラム教徒と食事をする時は、豚肉料理およびアルコールを避ける。
- ・男児は 12 歳で割礼を受ける。これは家族の大きな祝い事である。
- ・ハリヤプアサは断食の後にある祝日で、この時期に休暇をとる人が多く、帰省したり、友人同士が家を訪問しあう。

<中国系>

- ・第一子または男児出産の 30 日後に客を招待して祝う。
- ・太陰暦の正月を祝い、この時期に休暇をとる人が多い。
- ・結婚祝いの贈り物は式の前に渡す。式の後では縁起が悪いとされている。
- ・葬式は盛大に行う。
- ・借金は中国正月の前に返済する。
- ・2 個以上の物を贈る時は、必ず偶数個にする。
- ・太陰暦では月 2 回断食日があり、断食または菜食する人がいる。パーティーなどを催す際は注意すること。

<インド系>

- ・ヒンズー教の信者にはベジタリアンが多い。
- ・イスラム教徒をもてなす際は豚肉、牛肉は避けること。

- ・病死者は必ず火葬にする。
- ・正月は祝日ではなく、内輪でひっそり過ごす。これに代わるものとしてディパバリという祝日があり、この時期に家族や友人を訪問しあう。

<王族の称号>

- ・Tunku または Tengku は王族という意味を持つ。
- ・Raja はペラク州にて用いられる時、王族という意味を持つ。ペルリス州ではサルタンがこう呼ばれる。
- ・Ungku または Engku はジョホール州で用いられる。Tunku、Raja の下位である。

<一般の称号>

- ・Tun (男女) は、王族以外の人に与えられる最高の称号で、国王によって授けられる。その夫人は Toh Puan と称される。この称号は子孫に引き継ぎはできない。
- ・Tan Sri (男女) は、王族以外の人に与えられる2番目に高い称号で、国王によって授けられる。その夫人は Puan Suri と呼ばれる。子孫に引き継ぎはできない。
- ・Datuk または Dato (男)、Datin (女) は、州のサルタンもしくはサルタンのいない州にあっては国王によって与えられる最高の称号である。
- ・Encik (男) は、Mr. と同じ意味で使う。Tuan も同じであるが敬語である。Cik (女) は婚前の女性で Miss と同じである。Puan (女) は結婚後の女性につける。

16-2 パーティーでの留意点

会合の場合は、少なくとも HALAL の確認（イスラム教徒のための料理にするか否か）が必要である。その他 16-1 項を参照のこと。

16-3 来客時の留意点

16-1 項を参照のこと。

16-4 訪問時の留意点

16-1 項を参照のこと。

16-5 禁止されている言動

16-1 項を参照のこと。

17. 任国官公庁

官公庁の執務時間は月～金曜日が8:00～16:15、土曜日が8:00～12:45である。昼休みは12:45～14:00（金曜日のみ12:45～14:45）である。

技術協力および本邦研修員受け入れの窓口は次のとおりである。

External Assistance Section, Economic Planning Unit (EPU), Prime Minister's Department. (総理府経済企画庁対外援助局) <技術協力>

所在地: Jln. Dato Onn, 50502 K.L.

電話: 2300133、2327080

Look East Policy Section, Public Services Department (PSD), Prime Minister's Department (総理府人事院東方政策局) <本邦研修員受け入れ>

所在地: Kompleks JPA, Jln. Tun Ismail, 50510 K.L.

電話: 2940212

その他の省庁は次のとおりである。

省 庁	所 在 地	電 話
Ministry of Agriculture (農業省)	Wisma Tani, Jln. Sultan Salahuddin 50624 K.L.	2982011
Ministry of Culture, Arts and Tourism (文化・芸術・観光省)	Tingkat 34-36, Menara Dato Onn, Pusat Dagangan Dunia Putra 45, Jln. Tun Ismail 50694 K.L.	2937111
Ministry of Defence (国防省)	Jln. Padang Tembak, 50634 K.L.	2921333
Ministry of Education (教育省)	Paras 7, Blok J, Pusat Bandar Damansara, 50604 K.L.	2556900
Ministry of Energy, Telecommunications and Post (エネルギー・通信・郵政省)	Tingkat 1, Wisma Damansara, Jln. Semantan, 50668 K.L.	2562222
Ministry of Finance (大蔵省)	Blok 9, Kompleks Pejabat-pejabat, Kerajaan, Jln. Duta, 50592 K.L.	2582000
Ministry of Foreign Affairs (外務省)	Wisma Putra, Jln. Wisma Putra, 50602 K.L.	2488088
Ministry of Health (保健省)	Jln. Cenderasari, 50590 K.L.	2985077
Ministry of Home Affairs (内務省)	Jln. Dato Onn, 50546 K.L.	2309344
Ministry of Housing and Local Government (住宅・地方自治省)	Paras 4 & 5, Blok K, Pusat Bandar Damansara, 50490 K.L.	2547033
Ministry of Information (情報省)	Tingkat 7, Bangunan Angkasapuri, Lembah Pantai, 50610 K.L.	2745333
Ministry of Human Resources (人的資源省)	Tingkat 1-3 (Paras 2-4), Blok B Utara, Jln. Damanela, Pusat Bandar Damansara, Bukit Damansara 50530 K.L.	2557222
Ministry of Land and Cooperative Development (土地・協同組合開発省)	Wisma Tanah, Jln. Semarak, 50574 K.L.	2921566
Ministry of Rural Development (地方開発省)	Tingkat 5-10, Bangunan Kompleks Kewangan, Jln. Raja Chulan, 50606 K.L.	2612622
Ministry of Primary Industries (第一次産業省)	Tingkat 6-8, Menara Dayabumi, Jln. Sultan Hishamuddin, 50654 K.L.	2747511
Ministry of Science, Technology and Environment (科学・技術・環境省)	Tingkat 14, Wisma Sime Darby, Jln. Raja Laut, 50662 K.L.	2938955
Ministry of International Trade and Industry (国際貿易・産業省)	Blok 10, Kompleks Pejabat Kerajaan, Jln. Duta, 50622 K.L.	2540033
Ministry of Domestic Trade and Consumer Affairs (国内取引・消費者行政省)	Tingkat 22-24 & 40, Menara Maybank, 100, Jln. Tun Perak, 50050 K.L.	2329955

次ページへ続く

省 庁	所 在 地	電 話
Ministry of Transport (運輸省)	Tingkat 3-4-5-7-9, Wisma Perdana, Jln. Dungun, Damansara Heights, 50616 K.L.	2543246
Ministry of National Unity and Social Development (国民統合・社会開発省)	Tingkat 20-21, Wisma Bumi Raya, Jln. Raja Laut, 50562 K.L.	2925011
Ministry of Works (公共事業省)	Jln. Sultan Salahuddin, 50580 K.L.	2919011
Ministry of Youth and Sports (青年・スポーツ省)	Aras 6 & 7, Blok K, Pusat Bandar Damansara, 50570 K.L.	2552255
Ministry of Entrepreneur Development (企業開発省)	Tingkat 22-26, Bangunan Medan MARA, Jalan Raja Laut, 50652 K.L.	2985022

18. 在外日本関係機関など

機 関	所 在 地	電 話	執 務 時 間
在マレーシア日本国大使館 (The Embassy of Japan)	11, Pesiaran Stonor, Off Jln. Tun Razak, 50450 K.L.	03-2427044	
在ベナン日本国総領事館 (Consulate-General of Japan)	2, Jln. Biggs Rd., 10350 Penang.	04-2268222	
在コタ・キナバル日本国総領事館 (Consulate-General of Japan)	5th Floor, Wisma Yakim, Jln. Datuk Salleh Sulong, Kota Kinabalu, Sabah.	088-254169	8:30～16:30、土休 昼休：12:30～14:00
JICA マレーシア事務所 (JICA MALAYSIA OFFICE)	Suite 18.IW, 18th Floor, Wisma Sime Darby, Jln. RajaLaut, 50350 K.L.	2935416	9:00～16:30、土休 昼休：12:15～13:15
JICA マレーシア事務所コタキナバル出張所 (JICA JOCV OFFICE)	No.798, Lorong Sang Kancil Satu, 88300 Kota Kinabalu, Sabah.	088-224044	8:30～16:30、土休 昼休：12:30～14:00
在マレーシア日本商工会議所 (JACTIM)	Suite 6.01, 6th Floor Regent Office Blok Jln. Bukit Bintang, 55100 K.L.	2427106 2414460	9:00～17:00、 (土) 9:00～13:00 昼休：13:00～14:00
海外経済協力基金 (O E C F)	22nd Floor, UBN Tower (Letter Box 5), No.9, Jln. P. Ramlee, 50250 K.L.	2323255 2322201	8:30～17:00、土休 昼休：12:30～13:30
国際交流基金 (Japan Cultural Center)	20th Floor, UBN Tower, No.10, Jln. P. Ramlee, 50250 K.L.	2306630	8:30～16:30、土休 昼休：12:30～13:30
日本貿易振興会(J E T R O)	23rd Floor, Menara Tun Razak, Jln. Raja Laut, 50350 K.L.	2930219 2930244	8:30～16:30、土休 昼休：12:30～13:30
日本人会(Japan Club)	Lots 463 & 475, PT 1, Section 94, Taman Seputeh, 58000 K.L.	2742274	8:00～17:00、 (土) 8:00～13:00 昼休：12:00～13:00
海外技術者研修協会(AOTS)	No.11, Jalan SS 23/15, Taman Sea, 47301 Petaling Jaya, Selangor	7034987 7035004	8:30～17:30、土休 昼休：12:30～13:30
中小企業金融公庫(JFS)	28th Floor, UBN Tower, No.10, Jln. P. Ramlee, 50250 K.L.	2305703 2305705	9:00～17:00、土休 昼休：13:00～14:00

19. 地方都市

1998年11月1日現在の地方在住者（青年海外協力隊員）は次のとおりである。
Ipoh（イポー：Capital, State of Perak、ペラク州首府）3人、Kuching（クチン：Capital, State of Sarawak、サラワク州首府）4人、Kuala Terengganu（クアラトレンガヌ：Capital, State of Terengganu、トレンガヌ州首府）2人である。

任国情報をご利用の皆様へ

この任国情報は政府間技術協力のために開発途上国へ赴任する専門家などの JICA 関係者が任国への入国および滞在するために必要とされる情報、とくに生活情報を提供するものです。

専門家などの JICA 関係者は、技術協力協定などの国際約束に基づいて派遣されておりますので赴任国で課せられる税金が免除されることがあります。任国情報はこうした関係者を対象として作成されておりますので、あらかじめご了解願います。

-----アジア地域-----

1. バングラデシュ
2. ブータン
3. ブルネイ
4. カンボディア
5. 中華人民共和国
6. インド
7. インドネシア (ジャカルタ、バンドン、
ジョグジャカルタ、メダン)
8. 大韓民国
9. ラオス
10. マレーシア
11. ミャンマー
12. ネパール
13. パキスタン
14. フィリピン
15. シンガポール
16. スリ・ランカ
17. タイ (バンコク、チェンマイ、コンケン)
18. ヴィエトナム
19. モンゴル

-----中近東地域-----

1. アルジェリア
2. バハレーン
3. エジプト
4. イラン
5. ジョルダン
6. クウェイト
7. モロッコ
8. オマーン
9. カタル
10. サウディ・アラビア
11. スーダン
12. シリア
13. テュニジア
14. トルコ (アンカラ、イスタンブール)
15. アラブ首長国連邦 (ドバイ、アブダビ、ドバイ)
16. イエメン (サナア)

-----太平洋地域-----

1. フィジー
2. キリバス
3. ミクロネシア
4. パラオ
5. パプア・ニューギニア
6. ソロモン諸島
7. ヴァヌアツ
8. 西サモア
9. トンガ
10. マーシャル諸島

-----欧州地域-----

1. カザフスタン
2. キルギス
3. ポーランド
4. タジキスタン
5. トルクメニスタン
6. ウズベキスタン
7. ハンガリー
8. ブルガリア
9. チェッコ
10. ルーマニア

-----アフリカ地域-----

1. ベナン
2. ブルンディ
3. カメルーン
4. カーボ・ヴェルデ
5. コモロ
6. エチオピア
7. ガンビア
8. ガーナ
9. ギニア
10. ギニア・ビサオ
11. コートジボアール
12. ケニア
13. リベリア
14. マダガスカル (アンタナナリボ、アンチラナナ)
15. マラウイ
16. モーリシャス
17. モザンビーク
18. ニジェール
19. ナイジェリア
20. ルワンダ
21. サントメ・プリンシペ
22. セネガル
23. セイシェル
24. ソマリア
25. タンザニア
26. トーゴ
27. ザイール
28. ザンビア
29. ジンバブエ
30. スワジランド
31. ボツワナ
32. エリトリア

-----中南米地域-----

1. アルゼンティン
2. ボリヴィア (ラ・パス、サンタクルス)
3. ブラジル (ブラジリア、サンパウロ、リオデジャネイロ、
ポルトアレグレ、ベレーン)
4. チリ
5. コロンビア
6. コスタ・リカ
7. ドミニカ共和国
8. エクアドル
9. グレナダ
10. グアテマラ
11. ホンデュラス
12. メキシコ
13. パナマ
14. パラグアイ (アスンシオン、エンカルナシオン)
15. ペルー
16. セント・ルシア
17. トリニダード・トバゴ
18. ウルグアイ
19. ヴェネズエラ
20. ニカラグア
21. ジャマイカ

「任国情報（マレーシア）1998年版」

平成10年12月31日発行

編集・発行所 国際協力事業団 国際協力総合研修所
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10番5号
電話 (03)3269-2357

